



山形柔整会報

Volume 307



東北ブロック会山形大会特集

山形柔整 令和8年1月号 2026/1 Contents

- 1 | 年頭の挨拶 公益社団法人山形県柔道整復師会会長 佐藤 公司
- 3 | 年頭の挨拶 日本スポーツ協会会長 衆議院議員 遠藤 利明
- 4 | 年頭の挨拶 農林水産大臣 衆議院議員 鈴木 憲和
- 5 | 年頭の挨拶 衆議院議員 加藤 鮎子
- 6 | 年頭の挨拶 山形市長 佐藤 孝弘
- 7 | 年頭の挨拶 山形県議会議員 伊藤 重成
- 8 | 年頭の挨拶 山形県医師会会長 間中 英夫
- 9 | 各部の今年の抱負
- 10 | 日本柔道整復師会東北ブロック学術大会
東北ブロック会少年柔道大会 形競技会
- 24 | 事業報告
- 30 | 各地区だより
- 38 | ボランティア活動報告
- 42 | 介護予防機能訓練事業活動現況
- 43 | 学術コーナー
- 44 | シリーズ「昔は良かったなあ」
- 46 | シリーズ「この人」
- 50 | 会員自由投稿 「ティータイム」
- 56 | 会の動き
- 58 | 会員の異動・編集後記



令和8年 新年のご挨拶

公益社団法人 山形県柔道整復師会
会長 佐藤 公 司

令和8年の輝かしい新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。会員の皆様におかれましては、旧年中に賜りましたご協力に対し衷心より御礼申し上げます。

本年の干支は午年（うまどし）です。十二支の7番目にあたります。馬は常に前進する動物であり、後ろを振り返らずに前へと進むその姿は、夢に向かって突き進む人の象徴でもあります。そのため、発展や成長・繁栄のシンボルとして日本人に長く親しまれてきました。また、馬が広い野を駆ける姿から、「外へ向かって挑戦する」「勢いよく進む」などのイメージとも結びついており、チャレンジを後押しする年とも言われています。「午年」は、まさに柔整業界にとっても理想の年であると思います。本会も午年にあやかり、良い方向へ大きく変化する一年にしたいと思っております。

昨年は春から夏にかけての季節の進みが早く、全国的に早い梅雨明けとなりました。その影響により、猛暑が続いた一方で、全国各地で記録的な大雨で甚大な被害を被ったところもありました。また、昨年11月18日夕方に大分市伊賀関で大規模火災が発生し、多くの住宅等が被災しました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げ、一日も早い復旧を願っております。

本会は昨年7月26・27日「東北ブロック少年柔道大会及び形競技会」を上山市で「東北学術大会山形大会並びに懇親会」を、山形市で開催いたしました。公益社団法人日本柔道整復師会 長尾敦彦会長はじめ日本柔道整復師会の皆様、御来賓の皆様並びに東北各地から多くの会員の皆様からお出で頂きました。皆様のご支援ご協力により成功裏に終了することができました。ありがとうございました。本大会に参加された会員の皆様が学術理論を深め、それぞれに技術を研鑽し、更なる資質の向上を図ることで、地域住民の保健向上に繋がったことと思います。

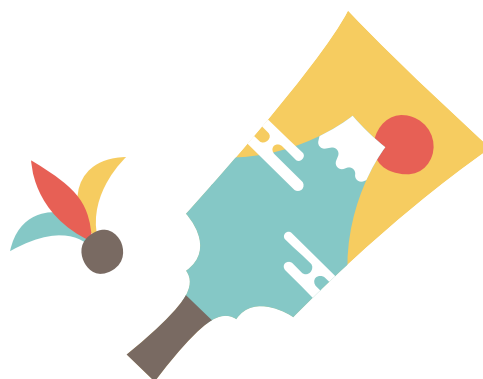
さて、今年は柔整療養費の改定の年です。柔整療養費は平成23（2011）年度の4,085億円をピークに、令和4（2022）年度には、2,747億円と11年間で1,338億円の減少となっています。また、就業柔道整復師数は平成22（2010）年度50,428人から令和6（2024）年度78,666人と28,238人の増加。施術所数は平成22（2010）年度37,997箇所から令和6（2024）年度は50,924箇所と12,927箇所の増加となっております。これらの数字を見ても、柔整業界が厳しい状況であることが伺えると思います。加えて、物価高騰や人件費の上昇等は施術所経営に深刻な状況を来しています。安定した施術所経営のためにも、柔整療養費の大幅なプラス改定になることを期待しているところです。

また、柔道整復療養費のオンライン請求については、現在、柔道整復療養費検討専門委

員会において「柔道整復療養費のオンライン請求導入などに関するワーキング・グループ」において検討されているところです。今後のワーキング・グループの検討結果を踏まえ、時期は未定ですが導入方針（案）が、まとめられるものと考えています。

結びに、本年も会員皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新しい年が先生方お一人お一人にとって充実した幸多き年となりますことを祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和8年元旦





年頭のご挨拶

日本スポーツ協会 会長
衆議院議員

遠藤利明

令和8年の新春を迎え、心よりお慶び申し上げます。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

公益社団法人山形県柔道整復師会におかれましては、柔道整復の進歩・発展と柔道整復師の資質向上にご尽力され、国民の健康・福祉に大きく貢献していただきました。これまでの貴会の皆様のご尽力とご貢献に対し、深く敬意を表します。

現在、社会全体や医療分野のDXが進む中で、柔道整復療養費においても、公的な関与の下に請求・審査・支払いが行われる仕組みとして、オンライン請求の導入が検討されています。併せて令和6年12月より、マイナ保険証を基本とする仕組みに移行し、オンライン資格確認の導入が進んでおります。

このような動きは、施術所等の事務の効率化や施術のさらなる質の向上につながり、国民に良質な施術が提供されるものと考えており、貴会のご協力には大変感謝しております。

また、今年は令和8年度柔道整復療養費改定に向けた検討を進めていきます。皆様のご意見を丁寧に向いながら、現場の皆様がより良い施術をできるよう、検討を重ねていきたいと思っております。

また、我が国の医療を巡る環境は、急速な少子高齢化や、医療技術の高度化、国民の医療サービスへの需要の多様化など大きく変化しており、質の高いサービスを安定的に提供できる体制を構築することが重要な課題です。

このような状況の中、地域で疾病や傷害を抱える方々の生活を支えるために、柔道整復の果たす役割や柔道整復に対する国民の期待は、益々高まるものと考えております。

柔道整復師の皆様方におかれましては、引き続き研鑽を重ね、これまで以上にその真価を発揮なさっていくことをご期待申し上げます。

最後になりますが、本年が貴会にとって、実り多き素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げ、年頭に当たっての私の挨拶といたします。



年頭のご挨拶

農林水産大臣
衆議院議員

鈴木 憲 和

新春を迎えるにあたり、謹んでお慶びを申し上げます。

平素より、貴会の皆様からたくさんの励ましやご指導をいただきまして、心より感謝申し上げます。また、日頃より県民の健康維持や地域医療の充実のために、献身的な活動を続けておられることに、深く敬意を表します。

いま日本社会は、人口減少・高齢化の進行、地域医療の担い手不足、そして地域運動器疾患の増大という、複合的な課題に直面しています。こうした中で、柔道整復師が果たす役割は、一層重要性を増しています。急性外傷への迅速な対応はもちろん、高齢者のフレイル予防、住民の運動機能維持、さらにはスポーツ障害予防まで、皆さまの専門性は地域社会の基盤そのものです。

現在、「地域医療提供体制の強化」と「予防・健康増進の総合戦略」を柱に据え、多職種連携やデジタル活用による医療・介護の効率化を進めています。これらの施策の中心には、地域と長年向き合ってきた柔道整復師の皆さまの力が必要です。とりわけ、早期回復支援や外傷対応に関する現場の知見は、地域包括ケアの資質向上に重要な要素であり、こうした施策づくりの中で、皆さまの声をより反映できる体制を整えてまいります。

農林水産行政の観点からも、皆さまへの期待は年々高まっています。農作業事故や慢性疲労は、地域の生産性や担い手確保に深く関わる課題です。農林水産省では、担い手支援・スマート農業の推進に加え、「農業者の健康確保」を重要テーマとして位置づけています。現場で身体を酷使する農業者が、身近な地域で適切な施術を受けられる環境が整うことは、農業の持続可能性を高めるうえで不可欠です。柔道整復院の存在は、まさに地域の現場力を支える柱であり、私はその意義を強く実感しております。

山形県は、豊かな自然資源と地域の絆を大切に育んできた土地です。そこで活動される皆さまの姿勢は、地域包括ケアの将来像そのものです。国としても、地域とともに歩む柔道整復師の皆さまが、より力を発揮できる制度・現場環境の実現に向けて、引き続き取り組んでまいります。

結びに、令和八年が、皆さまにとって飛躍の一年となりますことを心より祈念し、年頭のご挨拶といたします。



年頭のご挨拶

前 内閣府特命担当大臣
衆議院議員

加 藤 鮎 子

公益社団法人山形県柔道整復師会の皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様におかれましては、ご家族お揃いで、輝かしい新春をお健やかに迎えのことに、心よりお慶び申し上げます。

山形県柔道整復師会の先生方におかれましては、日頃より学術・技術の研鑽に不断のご努力を重ねられ、地域医療の振興と社会福祉の充実に多大なご貢献を頂いていることに、深甚の敬意を表します。

患者様が負った打撲や捻挫、骨折などの損傷を保存的に治療し回復を図る、整復・固定、手技・運動・温熱などの日本の伝統医学に基づく施術は、地域に根ざした接骨院として、今日まで長く多くの県民の皆様から安心と信頼を寄せられてきました。

私の父 紘一が幼少期に怪我をした際にほねつぎの先生に治療していただいたというエピソードを聞くたびに、先生方が単なる治療家ではなく、世代を超えて人々の心に寄り添う「地域のアンカー」として、いかに重要な存在であったかを痛感します。施術を超えた親身な説明と励ましは、今も変わらず、患者様とご家族の不安を和らげる大きな力となっております。

山形県柔道整復師会は、一世紀を超える光輝ある歴史を刻まれる中で、常に時代の変遷を的確に捉え、活動を展開されてきました。先生方の施術の研鑽、学術の向上・発展に資する事業はもとより、近年、激甚化・頻発化している大規模災害における迅速な救護活動、各種スポーツイベントでのボランティア活動、高齢者の方々の福祉、そして柔道を通じた青少年の健全育成など、その活動領域は多岐にわたります。

現在、私たちは「人生百年時代」を迎え、県民の医療・健康に対するニーズは益々多様化し、健康寿命の延伸は重要な国家課題です。早期の回復と社会復帰を支援する柔道整復師の役割は、まさに時代の要請として、今後さらにその重要性が高まると確信しております。

先生方には、この時代の大きな流れを力強くリードし、多様化する医療・医学への県民のニーズにお応え頂く先駆的な取り組みを、この令和八年においても一層力強く推し進めてくださることに、大きな期待を寄せる次第です。

私も、先生方から賜っておりますご指導とご支援を胸に刻み、地元国会議員として国政並びに当地域の発展とともに、山形県柔道整復師会の未来を見据えた意義ある事業と、先生方のご活躍を、全力で応援してまいる所存です。

結びにあたり、新しい年の公益社団法人山形県柔道整復師会の益々のご隆盛並びに先生方のご健勝とご多幸、ご繁栄を心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

令和8年1月吉日



お祝いのことば

山形市長

佐藤 孝 弘

新年あけましておめでとうございます。

公益社団法人山形県柔道整復師会の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

貴会におかれましては、長年培ってきた高い技術に基づき、地域に信頼される「接骨院・整骨院」として市民に質の高い施術を行っていただいているほか、スポーツにおけるトレーナー活動や地域住民の健康づくりの普及・啓発活動、高齢者の方々に対する運動機能の維持・向上のためのサービスの提供など、市民の健康増進や介護予防に大きくご貢献いただいておりますことに、心より感謝を申し上げます。

また、まるごとマラソン時には、スタート前のテーピングやゴール後のストレッチなどを通し、選手のサポートを担っていただいておりますことに、重ねて感謝を申し上げます。

現在、山形市では、「健康医療先進都市」「文化創造都市」をまちづくりの2大ビジョンに掲げ、誰もが安心して心豊かに暮らせる持続可能なまちづくりを目指し、各般の施策を推進しております。

なかでも「健康医療先進都市」の取組では、「SUKSK生活」の推進を通じて、健康アプリの登録者数が2万人を超えるなど市民の皆様の健康意識が高まっており、市民主体の健康づくり活動が活発に行われること等により、健康寿命、平均寿命ともに延伸するという成果が出ております。引き続き、医療・福祉・子育て分野などが幅広く連携し、SUKSK生活や介護予防を積極的に推進することで、誰もが健康で生きがいと役割を持って暮らすことのできるまちづくりに取り組んでまいります。

こうした取組を着実に推進するためには、健康づくりや介護予防に関する専門性や知見を有する貴会の皆様のご理解とご協力が不可欠でありますので、今後ともお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年の干支は「午」であります。力強く駆け抜ける馬のように活気にあふれ飛躍する一年になりますよう、そして公益社団法人山形県柔道整復師会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝・ご活躍を心からご祈念申し上げ、お祝いのことばといたします。



ご挨拶

山形県議会議員

伊藤 重成

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては日頃より県民の安全安心な暮らしにご尽力いただき感謝申し上げます。また私共県議会の活動に貴重なご意見を頂戴しており大いに参考にしております。

さて時勢は私たちの想像を大きく上回る速さで動いています。

アメリカにおけるトランプ政権誕生後「関税」が世界に波及し物価高が当たり前になり生活に大きな影を落とすようになりました。国内では石破首相から史上初の高市女性首相が登場し期待値が高まっております。しかし一方では令和の米騒動が出現し地元選出の鈴木農林水産大臣の手腕が試される場面にあります。そのような中県議会においては度々公定価格について議論がなされます。

毎年3月になれば春闘が始まり昨今は5%前後給与がアップしておりますが、診療報酬・介護報酬はタイムリーでなく医療・福祉の従事者は苦しんでいると言え、そのような状況を打破するには皆様と私共が一丸となり声を上げ行動することと考えます。今年がそのような一年になり実り多き年になりますよう共に努力しましょう。

結びに山形県柔道整復師会そして会員方々のいっそうのご発展を祈念申し上げましてご挨拶といたします。





新年のごあいさつ

山形県医師会

会長 間 中 英 夫

新年あけましておめでとうございます。謹んで新春のお喜びを申し上げます。

昨年7月の参議院議員比例代表選挙において、前日本医師会副会長であります釜菴 敏先生が、国民の大きな負託を受け、自由民主党の医療・介護・福祉の分野でトップ当選されました。釜菴先生には、今後も医療・介護・福祉を代表する立場でご活躍されるものと、その活動に大いにご期待申し上げる次第です。

さて、山形県におきましては、人口が100万人を下回り、医師不足、医師偏在など、医療を取り巻く環境は日に日に厳しくなっております。

こうした中、本会では、後継者のいない医療機関において第三者が医業を引き継ぐ、医業承継を支援する事業を実施しております。令和7年1月には医業承継マッチングサイトを開設し、現在、複数の譲渡を希望する医療機関及び承継による開業を希望する医師にご登録いただいております。既に、専門家を交えた面談等を進めているところです。

また、医学生に医師会活動に参加いただくことで、組織強化につなげていくため、令和6年4月に「山形県医師会医学生会員」制度を設置し、現在、284名の医学生に加入いただいております。県医師会主催研修会の運営にスタッフとして参加するなど、医師会活動にご協力いただいております。

ほかにも、本会では、サイバーセキュリティ対策、医療従事者安全確保対策、医療的ケア児者への支援を含む在宅医療の推進など、様々な課題に対応する施策を実施し、県民の皆様の健康維持・増進に努めてまいりますので、今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人山形県柔道整復師会の今後ますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍をご祈念申し上げます。

各部の今年の抱負

総務部

昨年は東北ブロック学会、一昨年は百周年記念式典と大きなイベントが続きましたので、今年はじっくりと本会の課題に取り組んでいきたいと考えます。山形 Re_Bone についても新たなメンバーで新たな視点を伺えたらと思います。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

保険部

国民の医療費の高騰に、国は何らかの政策を打ち出そうとしています。決して良策は期待できず、今後尚一層保険取り扱い情勢が厳しくなることが予想されます。会員の皆様には保険に関して有益となりうる様々な情報を集め発信してまいりたいと思います。本年もよろしくお願い致します。

学術部

今年の学術部は、東北ブロック学会が北海道と合同開催になりますので、それに向けて活動してまいります。また、県学術講習会での何か新しい取り組みを考えていきたいと思えます。会員の皆様からは、どなたか学術講習会での講師を推薦していただきたいと思えます。

広報部

今回の東北ブロック山形大会号は如何だったでしょうか。各地区広報部の方々から大会報告を寄稿して頂きました。ご協力ありがとうございました。会計と相談しながらになりますが、内容が貧弱にならないように次回も工夫して紙面づくりをしていきたいと思えます。

経理部

今年は新入会員の増員対策と、会費免除（高齢者）に対して、対象年齢引き上げを考えようと思っております。あとは、会費を上げずに現状維持するためには、皆さんが保険請求を増やすしかありません。そこで、保険部と協力し自由診療による窓口収入増加のほかに、他県・他団体との請求の違いを提示し、我々社団会員の収入増大に繋がる請求方法を提供できないかと考えております。

柔道部

第32回東北少年柔道大会・第13回東北少年柔道形競技会は令和8年9月20日（日）郡山市西部第二体育館で開催予定です。第35回日整全国少年柔道大会・第16回日整全国少年柔道形競技会・第45回日整全国柔道大会・第7回全国柔道整復師高段者大会は11月に東京文京区の講道館で開催予定です。上記大会出場選手の健闘を願っています。

令和7年7月26・27日、44回日本柔道整復師会東北学術大会山形大会が山形市ヤマコーホールを会場に開催されました。2日間にわたって行われた大会の特集を会報編集委員により報告致します。

会長挨拶 日本柔道整復師会 会長 長尾 淳彦

柔道整復の未来に向けた三本柱 信頼 × 科学 × 技術

6月22日に山形県で開催された会合には、多くの皆様にご参加いただき、心より感謝申し上げます。

この2年間、私は「信頼と協調の再構築」をキーワードに、業界全体の健全化に取り組んでまいりました。過去の不祥事によって失われた信頼を取り戻すには、足元からの見直しが不可欠です。

信頼の5本柱

1. 患者との信頼関係
2. 保険者との協調関係の強化
3. 関係団体との連携
4. 行政機関との関係強化
5. 柔道整復師同士の横のつながり



特に現在問題視されている「患者調査」については、患者が不安を感じ、現場が混乱するケースも見られます。こうした現状を改善するため、保険者との対話や制度改善への提案を継続しています。また、地域間での制度や支援体制の格差も浮き彫りになっており、今後は全国的な視点で公平な環境づくりを目指してまいります。

私たちは、日本で生まれ育った柔道整復師という国家資格に誇りを持ち、次世代に引き継ぐ責任があります。皆様と共に、誠実な歩みを続けていきたいと考えています。

学術講話要旨 | 科学的根拠と診療ガイドラインの必要性 徳山 学術教育部長

現在進行中の1年計画のプロジェクトは折り返しを迎えました。今後、柔道整復師が社会的に正しく評価されるためには、施術に対して「科学的な根拠=エビデンス」を示すことが重要です。

ガイドラインなき施術は報酬対象外に厚生労働省は、「ガイドラインのない治療法は診療報酬の対象としない」と明言しています。今後は、客観的なデータと再現性のある施術を明示できなければ、制度維持も難しくなる可能性があります。

ガイドライン作成の8ステップ

1. 目的と対象の明確化
2. 作成チームの編成
3. 臨床疑問の設定
4. 文献検索とエビデンス収集
5. エビデンスの評価
6. 推奨グレードの決定
7. 外部評価の実施
8. 公開・教育活動の展開



冷罨法と温罨法の再評価

「冷却が逆効果の可能性がある」という報告も近年増えており、冷罨法と温罨法の効果を科学的に比較・検証する必要があります。

文献検索と情報収集

文献検索は英語（例：Cryotherapy）で行い、著者の所属・利益相反（COI）も確認することが推奨されます。Google Scholar や PubMed を積極的に活用してください。

ワークショップ報告 | 柔道整復師とエコーの臨床活用

令和7年の国家試験（第33回）では、エコー画像に関する問題が初めて出題されました。これにより、「柔道整復師もエコーを学ぶべき」という国からの明確なメッセージが発信されたと受け止めています。



エコーの重要性

- 損傷部位を患者に「見せる医療」として可視化できる
- 柔道整復の手技や評価の説得力が増す
- 骨折、筋損傷、疲労骨折などの経過観察やリハビリ開始時期の判断にも有用

今後の展望

- 令和9年3月までに「前十字靭帯損傷」等のガイドラインを作成予定
- 全国から500～1000症例のエコー画像を収集するプロジェクトが進行中
- 長期的には「柔整といえばエコー」と言われる時代を目指す

ワークショップ報告 | 外傷対応・整復・固定の基本と実践

臨床現場で柔軟かつ確実に対応できる技術力が求められています。

外傷評価のポイント

- 外見に異常がなくても深部の腫れや圧痛があれば骨折を疑う
- 外力が加わった直後は痛みが軽くても注意深く観察
- 模型や図を使った説明で患者の不安を軽減し、信頼を得る

外果骨折の整復時の注意点

1. 前脛腓靭帯損傷への注意

- 外果骨折では、前脛腓靭帯を同時に損傷している可能性があります。
- この靭帯が開いたまま骨が癒合してしまうと、足関節の不安定症につながるリスクがあるため、整復の段階での評価・調整が重要です。



2. 整復操作の基本原則

- どの部位の骨折にも共通するが、手に余計な力を入れないことが重要です。
- 手掌や指頭部を患部にぴったりとフィットさせることで、骨の形状や方向をしっかりと感じ取りながら整復を行えます。

3. 牽引・整復操作の具体的手順

- 患部にしっかり手を当てた状態で、「グーッ」と一定の牽引力を加えることで、骨片が適切に動かされます。
- 操作の際は、次の手順で整復を進めます
 - 1) やや内反気味に牽引を開始する。
 - 2) 次に、少し外反を加える。
 - 3) 最後に、内果・外果の両側から直圧を加える。

固定の基本操作

- クラメル金属などは患部の形に正確に形成する
- 通院のたび患部を観察するため包帯固定は中枢と末梢のみを押さえるように
- 一人でも固定作業ができるように、日頃から手順を確認しておく

実例から学ぶ注意点

- 強引な整復で靭帯を悪化させたケースも存在
- 昔ながらの「鳴らす整復」ではなく、関節に負担をかけない操作が基本

編集後記

今、柔道整復師に求められているのは「信頼を得られる説明力」「科学的に裏付けられた技術」「一人でも処置できる対応力」です。伝統を守りつつ、時代の要請に応える形で進化していくことで、業界全体がより良い未来を築いていけると信じています。

報告者 会報編集委員 山田 勇樹

第44回東北学術大会山形大会 特別講演（要約）

健康寿命を伸ばすコツ！

加藤 丈夫 山形大学名誉教授

題名は健康寿命を伸ばすコツ・スクスク生活のすすめというタイトルで、スクスク生活を実践し健康寿命を伸ばそう、そういうお話であります。スクスク生活というのは山形市が進めている健康寿命を伸ばす為の政策でありまして、食事のS・運動のU・休養のK・社会参加のS・禁煙・受動喫煙のKのローマ字の頭文字をとってスクスク生活という私が名付けました。

まずは自己紹介、これは先ほどご紹介いただいたことなんですが1952年に埼玉県大家村（現、坂戸市）に生まれ1973年山形大学に入学し1979年に卒業し内科の分野に進みました。その後、ニューヨーク・サンフランシスコに入学し日本に戻って来て内科学講座の教授を拝命しております。2017年からは山形市保健医療監及び山形保健所の初代所長、この時に新型コロナが猛威をふるって四苦八苦しただけであります。2021年からは現在の国立病院機構・山形病院に勤務しております。現在も勤務しておりまして入院患者15名くらいと老体にむちうって外来もやっております。

それでは本題に戻りまして健康寿命とはというお話です。生まれてから亡くなるまでが寿命ですが、その間に健康な期間、例えば風邪をひいた、お腹をこわした、ケガをした等々一時的な不具合があるがおおむね健康状態は良好で介助なしで日常生活は可能。こういう期間を健康寿命と言います。健康寿命が損なった状態が不健康な期間で、最後寿命を迎えるわけでございます。現在日本では3つの健康寿命の定義が使用されておりますが、日常生活が自立している期間、具体的には要介護2未満です。要介護2以上ですと介護や介助が必要です。2未満ですとどうにか自分で日常生活動作ができるという事で市町村が公表している健康寿命もこのデータを使っております。ですのでこれからの話はこの定義にのっとって進めたいと思います。

健康寿命を損なう3大原因、健康寿命を伸ばすためにはどうすればいいか、それは健康な状態から介護が必要な状態におちいる原因を明らかにすればいいわけです。原因がわかれば具体的な予防策が可能になるわけであります。

これは山形市が健康寿命を損なった、つまり要介護2以上になった原因を円グラフで示しております。認知症、運動器疾患、脳卒中これが多いわけであります。運動器疾患といえますのは変形性膝関節症や変形性脊椎症、骨折、関節リウマチなどであります。骨や筋

肉、靭帯などの病気であります。この中で1番多いのは骨折であります。骨折を契機に日常生活に介助が必要になったり寝たきりになったという人は結構多いわけでありまして。全国で見ても大体同じような状態です。脳血管疾患、脳卒中と同じことです。脳血管疾患や認知症また関節疾患、骨折、転倒こっちとこっち合わせて運動器疾患というわけですが、やっぱりこの3つが多いわけでありまして。ですので山形市民の健康寿命を損なう3大原因は認知症、運動器疾患、脳卒中で約8割を占めております。

その中で1番多い認知症についてこれから少し説明させていただきます。これの定義というのは、いちど正常に達した認知機能が後天的な脳の障害によって持続性に低下し日常生活、社会生活に支障をきたすようになった状態。簡単に言いますと認知機能低下により日常生活に介助が必要になった状態を認知症といいいます。

最近マスコミ等々でMCIという言葉聞くことがあります。軽度認知障害の頭文字をとったのがMCIですが、これは正常と認知症の間であります。これは糖尿病を考えると分かりやすいんですが、糖尿病でもない、正常でもない場合を境界型と呼びます。境界型の方は高率に糖尿病に移行します。境界型の方は正常に戻れる人も結構たくさんいます。食事とか運動だとかそういうのを訂正することで正常に戻れる人もかなりいます。MCIも認知症に高率に移行するんですがMCIであっても正常に戻れる人もかなりいます。本人などが記憶量が落ちたと感じるけど日常生活に介助は必要ない。そんな状態です。先ほど申し上げたように高齢者の大体11~17%がMCIだと言われております。それでMCIから認知症へ移行率は1年で10%5年で40%移行するという調査データがあります。MCIから正常に戻るの年間14~44%というふうに報告によって違いはありますが戻る人がいるということは間違いありません。どういう人が戻りやすいのかというと体を動かす人、社会的に自立してる人、趣味を楽しむ人。こういうの方がそうじゃない人より正常に戻る率が高いということが報告されております。

ここで簡単な認知症のスクリーニング法についてお話ししたいと思います。詳しい認知機能検査をすればいいわけなんですが、時間がかかるしそういう手間暇がかかります。それでこれはですねスペインから報告されたデータですが65才以上の一般住民3579人に次の2つの質問を行ったわけです。年齢はおいくつですか？生まれた年は何年ですか？というこの2つの日常会話でもできるような簡単な質問。この質問に対して2問とも正解の人、1問正解、2問とも不正解というようにして、全員に詳しい認知機能検査を行って認知症があるかないか調べたわけです。そうするとこういう人数になるわけです。この数字を見ただけだと直感的に分かりにくいのでグラフに示します。2問とも正解の方は認知症なし99.4%認知症ありが0.6%、2問とも不正解の人44.4%半数近く認知症ありということなのでこの質問をして2問とも不正解だった場合には認知症の可能性を疑って専門の医療機関に紹介した方がよろしいかと思います。これは人のライフステージごとの予防可能な認知症の危険因子であります。成長期、壮年期、高齢期というふうに分けてあるわけですが、成長期教育年数が短い人が長い人に比べて年を取って認知症になるリスクが高い。日本は教育がしっかりしていて日本はあまりいないと思う。例えば壮年期に難聴がある人はない

人に比べて年を取って認知症になるリスクが高い。みんななるわけではないですけども、両者あるなしで比べてありの方がリスクが高い。高齢期について、喫煙運動不足社会的孤立こういうものがあるとない人に比べて認知症になるリスクが高いということでもあります。結構こういう中では予防できるものも多いのでこういう物を避けると認知症の予防につながるわけでもあります。もう1つ、認知症は症状であって病名ではないということです。よく医療関係者が認知症の診断名に認知症とやるんですがそれは診断名ではないです。認知症は症状であり病名ではないです。例えば腹痛という症状は、その原因となる病気は胃潰瘍だったり十二指腸潰瘍とか胆石だったりするわけです。それは症状であってこちらが診断名。頭痛は診断名ではなくて病名ではなくて偏頭痛や脳出血によっておこる。認知症をきたす疾患があるわけです。アルツハイマーだとかそういう病気が代表的なのですが、大体医学の教科書には100以上ある認知症の疾患ですが、代表的なものはだいたい3つ4つです。認知症をきたす疾患を総称して認知症疾患と呼びます。アルツハイマーがもっとも多く、脳血管性認知症、レビー小体型認知症この3つの認知症で3大認知症疾患と呼びます。最も多いアルツハイマー型認知症と治療可能な疾患2つを今日解説いたします。

まず最初にアルツハイマー型認知症、これはですね高齢者に最も多い認知症疾患であって物忘れで発症する、スタスタ歩きます。スタスタ歩いて物忘れがある場合はアルツハイマーが強く疑われるわけです。物忘れをどうゆうふうにするかという一番てっとりばやいのはその日の朝食の内容を昼頃に聞くと忘れてる。前日の食事の内容っていうのは正常な人でも覚えていない人も多いですが、その日の朝食の内容をその日午前中に聞いて言えないというのは認知機能低下か記憶力障害があるというふうに強く疑われるわけです。脳内には複数の老人斑と神経原線維変化ができます。脳内の神経細胞死ぬんですが、神経細胞が死んだところに老人斑と神経原線維変化という病的構造物が出現します。これは剖検脳ですので生きた患者さんで見るとは出来ません。老人斑の主成分はアミロイドベータ、神経原線維変化の主成分はリン酸化蛋白質ということが分かっています。脳のMRIを撮ると記憶をつかさどる海馬が萎縮します。治療としては最近初期患者ではアミロイドベータを投与する抗体療法が開発されました。実際の脳そのものを見ることは出来ないんですがアミロイドベットというCTみたいな検査でアミロイドが沈着しているかどうか分かります。正常高齢者に対してアルツハイマー型認知症の場合このように黄色及び赤黒づいたところ、大脳皮質なんですけどそこにアミロイドが沈着しているというのが分かるわけがあります。これは生きた患者さんで痛くも痒くもなく検査できる方法であります。これは亡くなった患者さんの脳を免疫染色というもので調べたんですが茶色く見えるのが老人斑でアミロイドベータ、免疫染色いわゆる抗体を用いて染色しているので茶色に見えるところはアミロイドベータが沈着しているところであります。神経細胞が1個しか書いてませんが多数あるわけです。神経細胞の活動により脳内の老廃物であるアミロイドベータが産生されます。アミロイドベータは脳内に蓄積することはなくて脳外に排出されることが分かっています。それが何かしらの原因で脳内に大量に沈着するとアルツハイマーになるということがわかっているわけです。これはですね睡眠中に脳内のアミロイドベータた

んばく質は除去されることがわかっていて、睡眠というのはアミロイドベータを脳内にためないために非常に重要なわけです。

次に治療可能な疾患2つについて述べたいと思います。1つは正常圧水頭症、これもアルツハイマー同様高齢者に多い疾患、多くは70代～80代に多い疾患です。アルツハイマーと違うところ



ろは初期から歩行障害が出てくる。3大症状として、歩行障害、認知機能・知的機能低下、尿失禁。大体多くの患者さんは歩行障害で始まって知的機能がおちてそのうちに尿失禁。ですからどれ一つとっても高齢者に多い症状なので見逃されやすいんですが、ただ注意深く見ると分かるわけです。特に歩行障害、これはアルツハイマーではスタスタ歩けますので、この病気では初期からハッキリした歩行障害があります。この病気は髄液シャント術により症状が改善します。3つの方法があるんですがこちらの2つは脳にチューブを突き刺しますので、患者さんからは嫌われてます。この年になって脳にストローみたいなチューブを刺すのが嫌だと。で、現在主流になっているのはこの方法で腰からチューブを入れて脳脊髄液をおなかの方に排出する、これが現在の主流になっております。正常圧水頭症とはこちら、脳を保護している脳脊髄液が原因でおこる病気です。この液体というのは脳の真ん中にある脳室で毎日一定量作られているんです。それが何らかの原因でこの脳脊髄液が脳室にたまりすぎて、その影響で頭の回転が遅くなったり歩くときふらつく、頻尿などといった症状が起こってきます。サインとなる症状を知って早めに対処することが大切です。正常圧水頭症にはタイプがありましてその一つが二次性正常圧水頭症というタイプです。この二次性正常圧水頭症というのはくも膜下出血や髄膜炎などの発症後大体3ヶ月くらいして後遺症として現れてくる病気です。これらの疾患は重篤な疾患ですので定期的な診察検査が行われますので、大体早期に発見されることが多いわけでありまして。ただこれもこちらに比べると稀な疾患であります。もう一つは家族性というものがあります。これは最近その存在が確認された病気ですが、発症しやすい家系がある。この病気も稀な疾患であります。早期発見して早期治療されれば症状が改善することが可能です。

次に甲状腺機能低下症、甲状腺というのは首の前にある臓器。ホルモンを産生する臓器です。甲状腺ホルモンというのは血液中に分泌されるんですが、これは全身の細胞を活性化する作用があります。車で言えばアクセルのような働きをします。分泌過剰の場合には甲状腺機能亢進症と言います。そうしますと全身の臓器の活動が過活動になります。分泌低下の場合には甲状腺機能低下症とよびます。その場合には全身の臓器の活動が低下するということでありまして。甲状腺は首の前にあつて外からも、体表からも触れることができますんですが、ここの部分をもんではいけない。首絞めたり、ぐりぐりすると甲状腺の細胞を破壊して甲状腺の細胞から甲状腺ホルモンが血中にドバッと出てきて甲状腺機能亢進症

いわゆる非常に命の危険がある甲状腺クリーゼというのを起こすこともあります。ですので、首の前をぐりぐりするのはいけません。歌手のいしだあゆみの命を絶った甲状腺機能低下症の多過ぎる症状、40才以上の中高年が甲状腺機能低下症の場合更年期障害やうつ病、認知症と誤診されることが今多いということです。甲状腺機能低下症をきたす最も多い疾患は慢性甲状腺炎別名橋本病といいます。これは女性に多く40才以上の女性の5%、非常に多いわけですね。女性40才以上の20人に1人がこの病気になるというわけでありまして。症状として記憶がない、物忘れ、錯乱、動作が散漫、疲れやすい、眠気、皮膚乾燥、汗が少ない、顔や手足のむくみ、脱毛、健診だとコレステロール血症コレステロールが高いと言われます。その時脈もちゃんと見るわけですね。高コレステロール血症があって脈が少なかったらこの3つの病気の可能性を考えないといけない。検査としては採血。血液中の甲状腺ホルモンの低下で診断は簡単です。橋本病と診断する為には甲状腺抗体の検査が必要になります。治療も簡単で飲み薬、甲状腺ホルモン製剤を飲めばいいわけで、簡単に症状は劇的に改善します。これも見逃してはいけない疾患になるわけでありまして。今、脈の話が出たのですが正常は1分間に60~100。100以上を頻脈、60未満を徐脈といいます。これが脈が少なくても多くても異常があれば心臓か神経の病気、ホルモンの病気の可能性があります。脈はこのように3本の指で測る訳なんですけど普通は脈っていうのは規則的に触れるわけですね。脈が不規則の場合は不整脈と言いまして心臓の病気が考えられるわけでありまして。脈を測ることによってかなり色々なことがわかります。

次に、健康寿命を伸ばすスクスク生活についてお話ししたいと思います。先ほど健康寿命を損なう3大原因が認知症、運動器疾患、脳卒中というお話をしました。この病気を予防するためには高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病の予防が非常に重要であるというのが内外の多数の医学研究で示されております。そして、この生活習慣病の予防には食事、運動、教養、社会、禁煙これが重要であるということも国内外の研究多数の論文があります。ですのでこれらに配慮したバランス良い生活習慣が必要であります。喫煙がよくないということは多くの方がご存じなわけでありまして。食事に関しても栄養バランスが非常に重要であると、特に血圧の高い人は減塩が必要。健康な菌によってしっかり色々な物が食べれるということが重要であることが多くの方が認識しているわけでありまして。適度な運動と日光浴、日の光、紫外線にあたると皮膚でビタミンDが構成されます。口からとらなくても皮膚で構成されます。ですのでビタミンDは骨を強くすると、骨粗鬆症の予防にもなるし、またビタミンDが構成されると脳内でセロトニンが増えるというのが分かっています。セロトニンが脳内で減るとうつ病になります。ですので日光に当たることはうつ病の予防にもなります。また適度な運動、運動というのはスポーツとは限りません。スポーツでなくても体を動かせばいいわけですね。私は仕事で大体一日病院の中を6000歩位歩いていますので、特に運動しなくても大丈夫かなと思っております。皆さんもおそらく柔道整復師ということで体を使っていると思うので、それが適度な運動になっているのではないかと思います。歌手であつても体をちょこちょこ動かすのは非常に重要です。一番悪いのは事務職ですね。事務職は一日机や椅子に腰掛けてるっていうのはやっぱり健康

的ではありません。また余暇を楽しむ、好きなことをやる、好きな物を食べるこれは脳内にエンドルフィンというホルモンを増やします。エンドルフィンというのは神経細胞を保護する作用があります。神経細胞を死にくくするわけです。ですので好きなことを楽しむと、これ認知症にいいからこれやれって無理やりやるのはかえって逆効果、本人が好きなやりたいことをやるのが重要です。適度な睡眠というのは先ほど話した認知症の予防になります。また社会インフラの整備、これはですね転倒しにくいような社会インフラ、転倒しても骨折しにくいような社会インフラ、こういうのが非常に重要です。雪国であれば融雪ですね。そういうのも重要なわけでありまして。山形市内もそういう事もあって融雪道路を拡大しております。あとは教育だとか、人間関係、高齢者の社会参加こういうのが認知症の予防になります。一部のマスコミや科学者は極端な事を言って注目を集める傾向にあります。例えばバナナが体に良いからといってバナナだけ食べていたら健康を害します。まんべんなく色々な食物を摂取することが重要であります。リービッヒの最小律、これは中学の教科書にでてるものなのですが、食物の生育は必要な元素のうちで最小限のものによって制限される。この例でいえばカリウムが不足していれば他の栄養素が豊富でも植物の生育は悪い。スクスク生活の理念は全体のバランスの重要。どれか一つのみ中止するのではなく何事も過不足なく、これスクスク生活に当てはめて、運動、食事、休養この例でいえば適切な運動、食事をしていても休養が取れない環境では心も体も健康を害する。スクスク生活という合い言葉でバランス良い生活を、ということであります。過ぎたるは猶及ばざるが如し。及ばないのは良くないけど過ぎたるも良くない。中庸が良い訳です。例えば、血糖が低くても高くても健康を害します。酸素も同じです。運動も食事と同じ、健康で長生きするためには何事も中庸が重要なわけです。

終わりに柔道整復師の方々に知っておきたい事、釈迦に説法かもしれませんがお話をさせていただきます。これは脳に行く血管、内頸動脈が左右に1本ずつ、椎骨動脈といって椎骨、背骨の骨、首の骨の間を通っている椎骨動脈というのが左右に1本ずつ、計4本で脳は栄養されているわけでありまして。この正常な動脈はこのように内腔が広くて柔軟な血液が流れている訳ですが、年をとって段々誰でも動脈硬化が起こってきます。このように内腔が段々狭くなって、内腔が更に狭くなって閉塞してしまうと脳梗塞になる。脳梗塞にならなくてもこういう人は、沢山います。例えばこういう所ですね、首の拍動を触れるところ。これが内頸動脈ですが、そういうところをぐりぐりするとこの動脈硬化で盛り上がった所が剥がれて飛んで行って脳塞栓になります。ですから首の血管はもんではいけないということであります。後ですね動脈乖離の話ですが、動脈というのは3層構造、内膜、中膜、外膜の3層構造しています。多くの場合、内膜と中膜あるいは中膜の中がすき間ができて血液が入ってしまう。動脈乖離っていうのは痛いんですね。頭痛とか首の痛みをともなう血栓ができ脳梗塞を起こします。これも首を無理に動かしたりぐりぐりやったりするのはいけない訳です。

最後になりますがメッセージとして、過ぎたるは及ばざるが如しが重要です。食生活、健康で長生き、脈をとりましょう。心臓、神経、ホルモンの病気の早期発見。睡眠をしつ

かりとりましょう。首の血管をもまない。動脈乖離や血栓、塞栓症の予防。甲状腺クリーゼの予防。ということで今日の講義でこういうのを持ち帰っていただければと思います。ご清聴ありがとうございました。

報告者 会報編集委員 丸山 稔

研究発表

山形県からは2組の会員方々の研究発表がありました。

1組目は奥山 敦史会員、高橋 明大会員、伊藤 大智会員方々による「中体連救護班活動からみる超音波観察装置の有効性」という演題で発表されました。超音波観察装置は選手、監督、コーチ、保護者への説明に役立ち、処置の判断の好材料にもなる。



それから選手のプレイ続行可能の判断、その後のテーピングなどの処置により試合に戻すことも出来る。長年、競技でのボランティア活動によって業務の理解、患者紹介等にも繋がり柔道整復師の活動の場を広げ地位を確立するものであるということの研究発表でした。

2組目は早坂 心大会員からの「オスグットシュラッター病の疼痛緩和の手段について」という演題で今回の報告の目的は大腿四頭筋のストレッチがどれほど有効な施術となるのかの確認をすることと骨盤の後継の改善も有効な施術であるという事を幾つかの症例を交えての研究発表でした。



日頃の診療でお忙しいところ学術論文の作成大変ご苦労様でした。

報告者 会報編集委員 奥山 隆

実技発表

最初は、宮城県・藤井裕文会員による「足関節に超音波治療器とモビリゼーションを併用する意義」という演題で「関節面の腓骨頭・外果の転がり」を主とした実技の発表をしていただきました。

藤井会員といえば超音波治療の第一人者であり、医療機器メーカーの伊藤超短波株式会

社と二人三脚で、施術時間を終えてから夜遅くまで、臨床実験や研究を重ね、超音波治療の可能性を広げてくださった功労者です。

まず患者役の足関節の背屈制限および背屈可動域を確認してから施術が始まります。次に下腿骨間膜前面および後面、距腿関節に超音波を照射することで準備が整いました。そして本番となる関節モビリゼーションの方法は、藤井会委員の真骨頂ともいえる照射をしながら骨の軸回転や関節への他動運動を行う方法で、腓骨頭と外果、足関節を動かしながら超音波を照射します。施術後、患者役の足関節の背屈制限および背屈可動域を調べると、明らかに改善していることが分かります。

超音波治療は温熱音圧効果により関節可動域を広げ、微細な力でスムーズに短時間で効果が表れる画期的な施術方法だと改めて感じさせられ、これを自由診療に活かしても、患者さんに御納得してもらえると確信しました。

時間が押していたため、急ぎ足での発表となりましたが、今後、藤井会員の超音波治療の講習会がありましたら、ぜひ受講してみたいと思えるほど素晴らしい実技発表でした。

続いて、岩手県・千葉惣平会員による「手指背側脱臼の整復法について」という演題で、千葉会員御自身も手指の脱臼を三度も体験しておられ、実体験に基づく説得力のある実技発表をしていただきました。

手指背側脱臼の整復法は、整復時に屈曲や伸展を行わずに、示指で遠位骨を背面に押し、拇指で末梢方向に押し込み、もう一方の手で牽引して完了する方法です。それにより剥離骨折の発生を可能な限り防ぐことができるとのことでした。固定の肢位は軽度屈曲位で対応したそうですが、それに対し「PIP 関節脱臼の場合、靭帯や組織の損傷が著しくその肢位では伸展障害が残るのではないか」との質問に、あくまで医師に紹介するまでの応急的処置という事でその場を収めました。



学術発表で一番辛いことは、想定外の質問をされたときです。それを避けるためには、事前に広範囲にわたって質問を予想し、答えを準備しておくことが大切です。実は私も経験があり、身をもって感じています。とはいえ、整復時に剥離骨折の発生を極力減らすという観点は、今後の可能性を感じられる素晴らしい実技発表でした。

報告者 会報編集委員 原田 洋典

第31回東北少年柔道大会、第12回東北少年柔道形競技会

令和7年7月26日、予想最高気温が38℃という猛烈な夏の日差しの中、三友エンジニアリング体育文化センター（上山市）にて第31回東北少年柔道大会、第12回東北少年柔道形

競技会が開催されましたので、観戦記を交えてご報告いたします。

大会に先立っての開会式で、大会会長の日整東北ブロック会長櫻田裕先生、上山市長の山本幸晴様、山形県柔道連盟会長の黒田一彦様より、柔道整復師の地域医療との関係性、柔道と柔道整復師の密接した関係性、出場選手やスタッフへのお気遣い等、心に残る挨拶をいただきました。

選手宣誓として、山形県代表チーム高橋道場の山内虎之介選手が、大きな声でしっかりと挨拶を行ってくれました。今大会ではどのチームも非常に礼儀正しく、大きな声で挨拶をしていた点が非常に好印象だったところです。

さて、試合ですがこの大会は各県の予選を勝ち抜いた2チーム、合計12チームを4つのブロックに分けてのリーグ戦を行い、各ブロック1位のチームで決勝トーナメントを行う方式です。出場選手の学年の指定があり、やや変則的な団体戦かもしれません。

我が県代表は高橋道場と柔道スポーツ少年団大道館の2チームです。

山形1位の高橋道場は、福島1位の郡山市柔道会、宮城1位の木村柔道館と。

山形2位の大道館は、福島2位の本宮柔道スポーツ少年団、秋田1位の集武館と同じブロックになりました。どのチームも県予選を勝ち抜いてきた強豪チームです。

全ての試合をお伝えしたいところですが、我が県代表の2チームの試合を1試合ずつ観戦記報告とさせていただきます。山形寄りの観戦記になりますがご了承ください。

大道館 対 集武館

先鋒戦 齋藤選手（四年） 対 佐藤選手（四年）

四年生女子同士の試合。スピーディーな組み手争いから技の掛け合い。

序盤寝技で危ない場面がありましたが、何とかしのぎ終盤、技の出し合い、寝技の争いを制して齋藤選手が見事に抑え込んだので一本勝ち。見応えのある好勝負でした。

次鋒戦 熊坂選手（五年） 対 田村選手（五年）

大道館次鋒の熊坂選手、一回り大きい男子選手に対して果敢に攻め込み、押し気味に進みました。互いに決め手に欠き引分けかと思いましたが、時間間際に背負い投げを返されそのまま抑え込まれ無念の負け。返し技は狙われていた印象です。敗れましたが、終始押し気味に進めており、とても惜しい試合だったと思います。

中堅戦 永瀬選手（五年） 対 高橋選手（五年）

中堅の永瀬選手も序盤から積極的に攻めますが、相手に上手く合わされポイントを取られ、抑え込まれ敗戦。積極的な試合運びでしたが、寝技を凌げば展開は違っていただいけません。

副将戦 土屋選手（六年） 対 佐藤選手（六年）

取り返しておきたい副将戦は六年生同士の試合。土屋選手の鋭い技が積極的によく出ました。が、佐藤選手はギリギリの粘りが上手く、ポイントにならない形で凌がれます。最後まで攻めが続きましたが、あと一步を凌がれ引分け。終始圧倒した試合運びで、もう少し時間があれば恐らく勝っていた試合だったでしょう。

大将戦 石川選手（六年） 対 工藤選手（六年）

1 - 2で後がない大道館ですが、大将の石川選手は、3月に行われた山形県大会の個人戦で優勝した我が県のエースです。やや体格差のある相手でしたが10秒過ぎと40秒過ぎに立て続けにポイントを取り貫禄の一本勝ち。安心して見ていただける試合でした。

結果2 - 2の引分けとなり、大道館は先に行われた福島代表の本宮との試合も2 - 2で引分けており、この後行われた集武館と本宮の試合は4 - 1で本宮が勝ったため、惜しくもリーグで敗退となりました。本宮との試合も接戦で非常に惜しい試合でした。紙一重のリーグ戦だったと思います。

高橋道場 対 木村柔道館

勝った方が決勝トーナメント進出となる重要な一戦。

宮城県1位の木村柔道館は、本大会で過去に何度も優勝経験のある強豪です。

先鋒戦 中山大輔選手（四年） 対 木村選手（四年）

開始から激しい組み手争い。相手の動きが止まった一瞬、中山選手の鮮やかな内股が豪快に決まり一本勝ち。思わず声が出るくらいに見事に決まりました。お見事。

次鋒戦 中山大誠選手（四年） 対 山口選手（五年）

一学年上且つ、一回り大きい選手が相手でしたが、背負い投げを中心に終始強気に攻めます。最初から最後まで勢い衰えず技が出ていましたが、僅かに凌がれ惜しい引分け。

中堅戦 山内ひかり選手（四年） 対 森田選手（五年）

次鋒戦に続いて一学年上の選手が相手でしたが、序盤からお互い技の応酬になります。一分過ぎ、山内選手の見事な連続技が決まり森田選手が倒れ込みますが、惜しくもポイントならず。そのまま引分け。手数、技のキレ共に勝っており、もう少し時間があれば違った結果だったかと思えます。

副将戦 山内虎之介選手（六年） 対 木村選手（六年）

両チームのエース格同士の試合となった副将戦。山内選手が強気に攻め込みますが、寝技の攻防で上から攻めていたはずが一瞬の隙をついて上手く返され、抑え込まれて無念の一本負け。これは木村選手のテクニックを褒めるべきでしょう。見事な寝技でした。

大将戦 矢萩選手（六年） 対 近藤選手（六年）

1 - 1で迎えた注目の大将戦。慎重な組み手争いを見せますが、ほんの一瞬動きが止まった所に近藤選手の見事な対落としが決まり悔しい一本負け。これも相手の近藤選手の技を褒めるべきでしょう。見事なタイミングでした。

結果1 - 2で惜しくも敗れ、こちらは無念のリーグ敗退となりました。

トーナメントの決勝は青森代表の五所川原柔道少年団と、鶴田柔道クラブの青森対決となり、五所川原チームの優勝となりました。

最終順位は1位、五所川原。2位、鶴田。3位、本宮と木村柔道館。となりました。

山形県代表は両チーム共に、各県代表チームを相手に素晴らしい試合を見せてくれました。結果はリーグ敗退となりましたが内容は紙一重で、ほんの少しの何かで結果は全く違っ

ていたと思います。選手の皆さんお疲れ様でした。



一方、形の競技ですが、こちらも各県2チームずつ、計12チームが「投げの形」という9つの技の形の演技を行います。

投げる側の「取」、投げられる側の「受」の二人一組で行います。審査基準が決まっており、技の完成度、礼法、全体の流れ、が主に採点基準となります。形の審査は非常に高度で、見た目でも単純に綺麗だから。では決まらないという事ですね。

残念ながら形の優劣は私では判断できませんので、結果のみ報告いたします。

1位、高橋道場。2位、大道館。3位、亘理町柔道スポーツ少年団（宮城）



山形県代表2チームが優勝、準優勝という素晴らしい結果となりました。

尚、秋に行われる日整全国大会には、試合の部は3月に行われた山形県大会の個人戦の学年別の上位選手を、形の部では優勝チームの高橋道場を派遣することが決まっています。選手の皆さん、頑張って来てください。

最後になりますが、今大会の開催に当たり、前日より会場準備を担当して下さった会員の先生方、本当にお疲れ様でした。猛暑の中大変なご苦労だったと思います。

また、前日準備含め、当日の運営スタッフとして参加していただきました、東海大学山形、山形工業、両高校の柔道部の顧問の先生、生徒の皆さん、最後までご協力本当にありがとうございました。皆さんのお力添えが無ければ、この規模の大会の開催はまず不可能です。この場を借りて改めて深く御礼申し上げます。

さて2017年以来の山形県開催となりました今大会ですが、関係各位の多大なご協力の下、大きな怪我やトラブルもなく無事に終了できました事を報告させていただき、文を閉じさせていただきます。

報告者 会報編集委員 鈴木 和也

第68回通常総会

副会長・総務部長 稲毛 英俊

令和7年5月24日に山形国際ホテルにおいて第68回通常総会が開催されました。今年度は改選期となり又公益法人法の一部改正により外部理事も必須となったことから以下の体制で2年間運営を行う事となりました。どうぞ宜しくお願い致します。

会 長	佐藤 公司
副会長・柔道部長	武田 吉和
副会長・総務部長・広報部長	稲毛 英俊
常務理事・保険部長	石川 敏一
常務理事・学術部長	佐藤 義弘
経理部長・柔道部	馳尾 順一
総務部・保険部	白旗 寛仁
総務部・広報部	江口 信浩
学術部・総務部	関 洋明
外部理事	五十嵐憲太郎
監 事	白井 正美
監 事	富樫 博
外部監事	津川恵美子

厚生労働大臣表彰

平成6年12月15日、東京都港区の明治記念会館で開催されました「公益社団法人日本柔道整復師会 社団法人設立70周年記念式典」において佐藤公司会長が「厚生労働大臣 労災補償行政関係功労者」を授賞されました。



第14回公益社団法人山形県柔道整復師会 少年少女柔道大会・柔道形競技会

副会長・柔道部長 武田 吉和

柔道団体

- 優勝 高橋道場
- 準優勝 柔道スポーツ少年団大道館
- 第3位 連生館柔道教室スポーツ少年団
- 第3位 袖崎柔道スポーツ少年団



柔道形競技会

- 優勝 高橋道場
- 準優勝 柔道スポーツ少年団大道館
- 第3位 袖崎柔道スポーツ少年団



柔道個人 5年生

- 優勝 石川 雪花 (大道館)
- 準優勝 山内虎之介 (高橋)
- 第3位 森 星夏 (袖崎)
- 第3位 高嶋 惟叶 (袖崎)

4年生

- 優勝 阿部 大輝 (戸沢)
- 準優勝 安食 知洋 (戸沢)
- 第3位 庄司 竣哉 (酒田)
- 第3位 佐々木陽真 (朝陽)

3年生

- 優勝 中山 大誠（高橋）
準優勝 須田 華乃（連生館）
第3位 中山 大輔（高橋）
第3位 渡辺梨々香（連生館）



（公社）山形県柔道整復師会 臨時総会

令和7年11月9日（日）山形国際交流プラザ山形ビッグウイング大会議室にて、学術保険講習会に先立ち臨時総会が開催されました。

議題は「互助会規約の一部改正について」と「互助会会費と資力割会費について」でしたが、原案通り承認されました。



（公社）山形県柔道整復師会 令和7年度保険・学術講習会

保険講習会 保険部長 石川 敏一
去る、令和7年11月9日（日）山形国際交流プラザ山形ビッグウイング大会議室に

て恒例の県保険講習会が開催されました。

今年の講師にはJ A 共済連山形県本部の損害調査部長の佐藤 誠氏にご依頼し、演題「自賠責業務の取り扱いについて」と題し、ご講演をいただきました。

最初に、令和6年度のJ A 共済事業の概要、そして県内地域貢献活動についてご説明があり、特に力を入れているのが交通安全対策への支援について多くの活動状況のお話がありました。

続いて、今回のメインテーマであります自賠責についてお話が進行していきます。

私達が車を購入する際は必ず自賠責の保険に加入しますが、自賠責共済とはそれは自動車の運行による人身事故の被害者を救済するため、原付バイクを含むすべての自動車に契約を付けることが義務けられている強制共済です。支払いの対象は人身事故に限られ物損（車両の修理費用）は対象にならない事や損害金の基準について詳しい説明がなされました。

そして、私たちの業務において一番関心の高い交通事故と健康保険について、何故、交通事故で健康保険を使わなければならないのか？それは交通事故は多くの場合、被害者にも過失があり、その過失割合が大きいほど健康保険を使って治療を行った方が被害者への受け取り分（保険金）が多くなり、過失の多い被害者への救済に繋がると



の説明でありました。また、治療期間が長期にわたる場合も健康保険を使う場合が多くなるとの事であります。以上が今回のご講演の概要であります。

J A 共済連山形県本部 損害調査部長 佐藤 誠 様には休日にもかかわらずご来駕いただき講演賜りました事に、心から厚く御礼と深謝を申し上げまして保険講習会の報告といたします。

学術講習会 学術部長 佐藤 義弘

令和7年11月9日（日）、山形国際交流プラザ・山形ビッグウイング2階大会議室において令和7年度山形県柔道整復師会学術講習会が開催されました。本年度は、経営セミナーという形で船井総合研究所メディカル支援本部治療院支援室チーフコンサルタントの小川祐樹先生をお迎えして、治療業界の概況と今後に向けた対策を、保険診療を含め自費売上げを立てるための具体的なステップをご講演いただきました。



また、山形地区の原田 淳会員と庄内地区の土門 潤先生による会員発表も行われました。ご協力いただきました、小川先生、原田先生、土門先生には感謝申し上げます。



**第31回東北少年柔道大会
第12回東北少年柔道形競技会**

柔道団体

高橋道場 「予選敗退」

柔道スポーツ少年団大道館「予選敗退」

柔道形競技

優 勝 高橋道場

取 小野 芽好

受 櫻井 蒼大

準優勝 柔道スポーツ少年団大道館

取 宇田沙也乃

受 熊坂 心





第34回日整全国少年柔道大会
 第15回日整全国少年柔道「形」競技会
 第44回日整全国柔道大会
 第6回全国柔道整復師高段者大会

少年柔道団体（山形県選抜チーム）
 一回戦 シード
 二回戦 鹿児島 3対1 山形（敗退）

少年柔道「形」競技会高橋道場
 （66.6点で11チーム中5位予選敗退）



日整全国柔道大会

東北ブロック選手 先鋒 松田幸泰(秋田)
 中堅 小松 光(山形)
 大将 富田剛史(山形)
 一回戦 中国 1対0 東北（敗退）



全国柔道整復師高段者大会

六段の部
 後藤雄二(山形) 対 林聖治(岐阜)引き分け



第18回四師会交流野球大会及び懇親会

学術部 関 洋明
 令和7年10月13日（月・スポーツの日）、
 山形市総合スポーツセンター野球場（きら
 やかスタジアム）に於いて、山形市医師会・
 山形市歯科医師会・山形市薬剤師会、そし
 て山形県柔道整復師会の四師会で、「第18

「回四師会交流野球大会」が開催される予定でしたが、数日前から大会当日朝方まで降ったりやんだりを繰り返していた雨の影響によりグラウンドコンディションが試合のできる状態ではなく、残念ではありますが大会開始以来2回目の野球大会中止の判断をいたしました。来年は我々柔道整復師会が当番幹事になるのですが、野球大会を中止することなく開催できることを願っています。

野球大会は中止となりましたが山形グランドホテルでの懇親会は予定通り行われ親睦を深めました。会の垣根を超えての盛り上がりは過去の大会と変わらぬ風景のまま懇親会は閉会となりました。

来年、四師会野球大会は10月のスポーツの日を開催予定日として今から準備が各会の協力を受けながらスタートしています。山形市医師会、山形市歯科医師会、山形市薬剤師会そして山形県柔道整復師会お互いの理解、懇親を深めて行くためにも大事な大会だと思っていますので今後も参加して下さる先生方を募集しています。

今後も応援の程よろしくお願い申し上げます。

山形県柔道整復師会青色申告会活動報告

事務局 村岡恵太郎

令和7年6月29日、山形県柔道整復師会青色申告会総会が「そば処三津屋本店」で開催されました。総会后、平山税理士を交えての懇親会となり、蕎麦と日本酒を囲みながら、今後の柔道整復師界、収支関連、



ご当地のお酒について、と会話に花を咲かせました。平山顧問税理士を囲み、お酒を飲みながら税金の話や新NISAといった貯蓄の話、お金に関する事を気楽に話せる機会を設けており、年に3回、7月に源泉徴収指導会、12月に年末調整指導会、2月に確定申告指導会を接骨師会事務所や平山税理士事務所にて書類の書き方等の指導を開催しております。その他の急な出来事の時も随時事務所のスタッフの方々が対応して頂ける会となっています。

当会は、平成20年に山形県柔道整復師会青色申告会となり17年の歴史があり平山顧問税理士も我々柔道整復業界にも精通しております。会費は相談料年50,000円と運営費4,000円となっております。ご興味がある先生は023-624-0781（村岡）までご連絡ください。

【顧問税理士 平山康介】

（経歴等）

昭和38年 村山市生まれ、仙台市在住
昭和62年より仙台国税局に29年間勤務
平成28年に井上幸夫税理士事務所の所属税理士となる。

平成30年1月村山市に平山康介税理士事務所を開業し現在に至る。

開業とともに山形県柔道整復師会連合会青色申告会の顧問となり申告指導を行って

いる。

税理士業務は、法人税・所得税・相続税等の税務相談、各種税務書類の作成のほか、事業承継や企業再編等を含めた経営コンサルタント業務を行っている。



山形地区だより

広報担当 鈴木 和也

山形地区春季学術保険講習会

令和7年2月11日（火・祝）山形市あこや会館にて、山形地区春季学術講習会が開催されました。

初めに保険講習会としまして、山形地区保険部担当理事の川越義徳先生より、近年の柔整の保険請求事情や数字の移り変わりなど、とても丁寧にお話を頂きました。

また、馳尾順一県理事、稲毛英俊県理事、武田吉和県理事からも、お話を頂きました。

その後学術講習会としまして、ふるかわ整形外科クリニック、古川孝志先生を講師としてお招きし、「交通事故診療の注意点」を演題とした講義を行って頂きました。

古川先生には具体的なデータが書かれた、理解しやすい資料を大量にご準備いただき、むち打ち損傷、痛みについて（神経障害性疼痛／慢性疼痛）、腰痛について、と、交通事故の枠を超えた内容の講演を行って頂きました。

定刻を若干過ぎるまで行われた、充実した講習会だったのではないのでしょうか。

山形地区総会

令和7年4月20日（日）山形国際ホテルにて、令和7年度山形地区柔道整復師会総会が開催されましたのでご報告いたします。

議長に小座間泰巳会員が選出され、初めに定足数の報告の後、議事進行に入りました。

総務、事業、保険、学術、広報の各部の令和6年度事業報告、経理部より会計報告、会計監査報告が行われ、無事承認されました。

令和7年度事業計画案、予算案の提案も問題なく承認され、総会終了となりました。

総会終了後、今年役員改選の年のため、新役員の選出が行われました。

6年度役員のうち、馳尾順一会長、高橋竜児副会長、武田吉和監事、大木徹監事が退任されました。4名の先生方には、長年にわたって地区の活動を支えていただき、ありがとうございました。この場を借りて深く感謝申し上げます。

さて、新役員の選出ですが、役員立候補者が7名、監事立候補者が2名と定数以下のため選挙は行われず、出席された会員先生方の承認をもって全員承認となりました。

その後場所を移し懇親会となりましたが、総会に出席されたほとんどの先生に懇親会にも御参加いただき、例年よりも若い先生方の出席が多く、大変賑やか且つ、和やかな懇親会だった事を申し添えます。

令和7年度の山形地区の新役員は以下の通りです。

地区会長	関 洋明
副会長兼総務部	川越 義徳
副会長兼事業部	渡辺 秀人
保険部兼柔道部	五十嵐 宏
学術部	熊澤 和寛
経理部兼柔道部	富田 剛史
広報部兼経理部	鈴木 和也
監事	馳尾 順一 高橋 竜児

この陣容で2年間努めてまいります。よろしく願いいたします。

山形地区秋季講習会

令和7年9月27日（土）、山形国際ホテルにて山形地区秋季学術保険講習会、終了後に懇親会が開催されましたのでご報告い

たします。

今回の学術講習会は外部講師を依頼する形式ではなく、会員の先生方をグループ分けしてのディスカッション形式で行われました。

メインテーマとしては、「施術に役立つ技術」というテーマで成されましたが、どのグループも各々の日々の疑問点や周囲に尋ねてみたいこと等、テーマにとらわれず活発なディスカッションとなったようでした。

個人的には、こういったディスカッション方式ではベテランの先生の経験に基づく施術方法や知識が非常に興味深く、改めて色々聞いてみたいと感じたところです。

一方、保険講習会では県保険部長の石川敏一先生に「保険取り扱い全般」という内容での講習を行っていただきました。



その中で他県の事例ですが、非常に執拗な受診照会の報告などとても衝撃的なお話がありました。当該例では柔整師側の請求にも問題がありそうでしたが、療養費の取扱いについて深く考えさせられる有意義な保険講習会だったと思います。

終了後は、衆議院議員、遠藤利明先生代

理、月野薫様、山形市議会議員、長谷川幸司様、自民党山形地区顧問、大内理加様の3名を御招きしての懇親会が行われました。

最近の山形地区の懇親会は以前よりも若い先生方の出席が増えております。

会員紹介

山形市十日町で「げんきの森接骨院」を開業されている稲葉裕先生がこの度「看護学博士号」を取得されましたのでご紹介致します。

柔道整復師として培ってきた臨床経験を、より学術的な視点から再検討したいと考え、2019年に山形大学大学院医学系研究科・臨床看護学分野（リハビリテーション看護）へ入学いたしました。

博士前期課程では、柔道整復師が担う機能訓練の実態を調査し、「地域密着型通所介護事業所の機能訓練サービスに参加する高齢者の運動機能の変化」をテーマとした論文により修士号を取得いたしました。

続く博士後期課程では、山形県コホート研究のデータを用い、「地域コホートに基づく高齢者におけるサルコペニアおよびサルコペニア肥満疑いの有病率と関連因子の検討」をテーマに研究を進め、2025年9月に博士号を取得いたしました。

今後も、高齢化が進む社会において地域医療の一端を担う柔道整復師として、高齢者の健康寿命の延伸に寄与できる知見を積み重ねていきたいと考えております。

学位の正式名称：博士号（看護学）山形大学大学院医学系研究科看護学専攻

稲葉 裕



庄内地区だより

広報担当 丸山 稔

令和7年庄内地区柔道整復師会総会

令和7年4月12日（土）鶴岡市グランドエルサンにおいて、令和7年度庄内地区柔道整復師会総会が開催されました。議長の進行により、令和6年各部の報告と令和7年度事業計画案、予算案、柔道救護計画案が承認されました。

役員改選により、次の様に決まりました。

- 相談役 北楯 誠一
奥山 茂明
富樫 博
- 会 長 白旗 寛仁
- 副会長 北楯 壽男 保健部長
小山 悟 総務部長・柔道部員(酒田地区担当)
- 理 事 安彦 尚人 企画部長
工藤 長弘 学術部長・柔道部員(鶴岡地区担当)

菅原 貞和 会計部員（互助会担当）

吉川 譲 会計部長

丸山 稔 広報部長

高橋 洋輝 企画部員・総務部員

富樫 翼 学術部員・保健部員

• 監 事 工藤 明寛

佐藤 規雄

公開講座 「PRP 療法について」

令和7年4月12日（土）鶴岡市グランドエルサンで「PRP 療法について」という演題で志田秀隆志田整形外科院長を講師に迎えてご講演、日々の健康について黒羽根洋司先生にお話していただきました。

再生医療の中には第一種、第二種、第三種ありまして、第一種はIPS細胞を使ったりする治療。大学、研究室で行われるもの。第二種は患者さんの血圧から採取したものを加工して関節の中に注入するという方法。第三種は患者さんの血液を加工した



ものを関節外、腱だとか靭帯というところに注入するという方法。二種、三種についてPRP療法ということで行われております。ほとんどの整形外科での病気に対して使うことができるようになっていきます。

損傷を受けた組織の生物学的な組織の治癒を目標とする、生体の治癒を促進させる治療です。

血小板がどういう力があるか説明します。例えば変形性膝関節症ですが、湿布をしたり注射をしたりしても痛みが取れないし階段を上る時も痛い、立ち上がる時も痛い、水もたまるしやりたい事が出来ない。医者からは人工関節しかないと言われた、でもまだ手術はしたくない。という方に提案できる治療法であります。例えばナイフで自分の手を切った、すると血が出ます。でもその血はそのうち止まります。血が止まること事態が血小板の働きなんです、組織の修復を促す因子をだす働きが血小板にはあります。その因子を利用したのがPRP療法ということなんです。

保存療法、薬だとかリハビリだとかヒアルロン酸の注射とかありますが、それがだめになった時は今までは手術とかしかなかったわけですが、第三の治療法としてPRP療法があります。PRPに含まれる成分ですけれどもいわゆる血小板が入ります、その血小板から出る成長因子があります。それ以外に他の細胞から分泌されたサイトカインといわれる炎800位の成分がPRPの中に入っています。それを患者さんの血液から採血しまして遠心分離機にかけて血小板の入った成分だけを取り出して、それを注入するという事です。

治療の流れとして、保険診療においてPRPの適用になるかを検査したり採血し

たりして、もし可能であれば行う。PRP療法は自費診療になります。

何度も繰り返す痛みで日常生活や運動が出来ない、手術もしたくないと医者に行っても薬飲んだり注射したりしても効果が続かないということで、一番こういう人に適用があると考えられます。

PRP・リハビリ・栄養療法することでスポーツでの早期復帰が期待できます。ドーピングは対象外です。

PRP療法の詳しいお話を聞くのは初めてだったので大変勉強になりました。ありがとうございました。

寒河江西村山地区だより

広報担当 奥山 隆

令和7年度寒河江・西村山地区総会

令和7年4月6日サンチェリーにて寒河江西村山地区総会が開催されました。

佐藤伸明地区会長の進行で令和6年度事業報告、各部報告、収支決算、監査報告が行われ承認された後、令和7年度事業計画（案）予算（案）も話し合わせ承認されました。

続いて総会への要望事項として県役員会の内容が会報だけだと末端まで情報が届いて来るのが遅く動向がつかめず、終わってしまったことを会報で伝えてもらうのでは入会している意味がないという意見がありました。

そこで、県役員会の開催ごとに内容を文書、もしくは支部長にラインで送って頂けると末端まで行き届きリアルタイムで情報が受け取ることが出来るのではないかとという話し合いがありました。



寒河江西村山地区学術講習会

去る12月7日（土）、柴橋地区多目的研修センターにおいて17時より学術講習会が行われました。今回は当地区会員 後藤雄二先生より、橈骨遠位端骨折の整復・固定法の技術指導を講演していただきました。後藤先生は、日整の100周年記念事業「匠の技 伝承プロジェクト」の指導者養成候補の県代表の一人であります。その先生が第一回目として各支部を回り技術指導を行っています。当地区の技術講義では、最初に日整会長 伊藤述史会長より動画で、匠の技伝承プロジェクトの趣旨についてのご説明がありました。近年私たち接骨院には骨折や脱臼の患者さんが来るのが少なくなったため、日整では古来伝統的な柔道整復術というのが忘れ去られることを危惧して骨折・脱臼の施術経験が少ない会員への技術指導を目的としています。その後超音波装置で取り扱いを観察し、整復法から固定法そして後療法の実践を学びました。学術講習会後は懇親会があり、12月から開



始のマイナンバー保険証取扱の話題など近況の情報に和やかな宴となりました。



置賜地区だより

広報担当 山田 勇樹

置賜地区令和7年度通常総会

令和7年4月19日（土）、南陽市赤湯「丹泉ホテル」において、置賜地区柔道整復師会 令和7年度通常総会が開催されました。

総会は加藤慎也副会長の開会の挨拶で始まり、続いて梅津宏一会長の挨拶が行われました。

その後、御来賓として鈴木憲和衆議院議員よりご挨拶をいただき、祝辞を賜りました。

議長に殿岡浩会員、書記に酒井拓夢会員および鈴木康平会員を選出し、議事に入りました。

令和6年度事業報告並びに各部活動報告、令和6年度会計報告、監査報告が上程され、続いて令和7年度事業計画（案）、令和7年度予算（案）が審議されました。質疑応答を経て、すべての議案が承認され、議長団の降壇をもって議事は終了いたしました。

本総会において地区役員の改選が行われ、以下の通り新役員が決定いたしました。

会 長	梅津 宏一
副会長兼総務部長	加藤 孝瑛
学術部長	小杉 孝則

保険部長	鈴木 秀臣
総務部兼広報部	山田 勇樹
経理部長	遠藤 初美
経 理 部	五十嶺宗市
監 事	鈴木久美子
監 事	小関 祐介

総会后、佐藤義弘県理事および江口信浩県理事より、県理事会等の報告が行われました。

また、各部からの報告・連絡事項が順次発表され、地区の活動方針および今後の取り組みについて共有がなされました。

すべての議事を終え、加藤副会長の閉会の挨拶により、令和7年度置賜地区柔道整復師会通常総会は滞りなく終了いたしました。

総会終了後には、会員相互の親睦を深める懇親会が開催され、和やかな雰囲気の中で交流が図られました。



置賜地区柔道整復師会保険学術講習会

令和7年9月6日(土)、南陽市宮内「ワトワセンター会議室」において、令和7年度置賜地区柔道整復師会 保険・学術講習会が開催されました。会は加藤孝瑛副会長の閉会の挨拶で始まり、続いて梅津宏一会長の挨拶、佐藤義弘県理事および江口信浩県理事より県理事会報告等が行われました。

その後、鈴木秀臣保険部長の講師紹介に

より保険講習会が始まりました。

本年度は山形県柔道整復師会保険部長・石川敏一先生をお迎えし、「保険請求について」と題してご講演をいただきました。

続いて、小杉孝則学術部長の進行のもと学術講習会が行われました。

今回の内容は「自費診療で使えるファンクショナルカップリングメソッドについて」と題し、一般社団法人グローバルアスリートサポート協会代表理事の浅野吉隆先生をお招きしご講演をいただきました。講演後には会員がモデルとなり、実技を交えた講習が行われ、実際の臨床現場でも活用できる知識と技術を学ぶ貴重な機会となりました。

講義終了後、梅津会長より講師の先生方への感謝の言葉が述べられ、閉会となりました。

最後に加藤副会長の閉会の挨拶をもって、令和7年度置賜地区柔道整復師会 保険・学術講習会は盛会のうちに終了し散会致しました。



最北地区だより

広報担当 原田 洋典

最北地区総会

令和7年3月22日(土)午後3時より、

新庄市「新庄ニューグランドホテル」において、令和7年度最北地区柔道整復師会総会が開催されました。

総会は早坂耐希務部長の進行により執り行われ、初めに「柔道整復師倫理綱領」の唱和を全員で行いました。その後、加藤聡副地区会長の開会宣言、続いて荒川由紀春地区会長からの挨拶を頂きました。次に議長選出となり、議長に伊藤孝之会員、副議長に布川百合香会員、書記に原田洋典が選出され、定足数の確認を行い議事進行となりました。県理事会報告、審査員報告があり、その後令和6年度各部の報告と令和7年度予算案及び事業部と学術部計画案があり、それぞれ質疑応答が行われた後に承認されました。続いて県総会における会員提出議案や、その他について話し合いが行われました。

今年の地区総会では、依然として続くコロナ禍の余波や患者照会による患者数の減少に加え、物価高騰の影響や料金改正がほぼ絶望的な昨今、効率の良い保険請求についての議論が数多く見受けられました。保険請求数が年々減っている中、施術した3部位請求の推進、各保険者による対応の違い、石川保険部長を中心にさまざまな情報や意見の交換をし、熱い議論を交わしました。

昨年に引き続き、役員は以下の通りです。

相談役	井莉 照仁会員
地区会長	荒川由紀春会員
副地区会長	加藤 聡会員
総務部長	早坂 耐希会員
会計部長	笹原 正吾会員
保険部長	菊池 邦寿会員
広報部長兼総務	原田 洋典会員
学術部長及び生涯学習担当	下山 剛会員

柔道部長	柴田 昌一会員
監事	渡辺 新会員

その後、会場を別にして懇親会の席が設けられ、井莉照仁相談役の乾杯のご発声を頂き宴に入り、美酒と料理に舌鼓を打ちながら終始和やかな雰囲気の中で会員同士の親睦が深められ、最後は石川敏一県理事の中締めで盛会裏の内にお開きとなりました。

最北地区保険・学術講習会

10月18日（土）午後1時30分より、新庄市「わくわく新庄」において、最北地区保険・学術講習会が開催されました。

学術講習会は最北地区会員の早坂耐希先生を講師にお迎えし、「匠の技の紹介」という演題で、重点部位である肩甲上腕関節脱臼についてご講演いただきました。最初に会員研修用標準テキストをもとに、プロジェクターを使って基礎である解剖などを学習いたしました。



続いてSSBさんのご協力のもと、最新エコー機による観察・診断法を学び、実技として肩関節前方脱臼の整復法（ヒポクラテス法）および固定法を二人一組となって実践いたしました。最近骨折や脱臼の患者数が減少し、われわれの腕が少々鈍っているかと思われます。初心に帰り、学生の頃のような新鮮な気持ちで学ぶことができました。

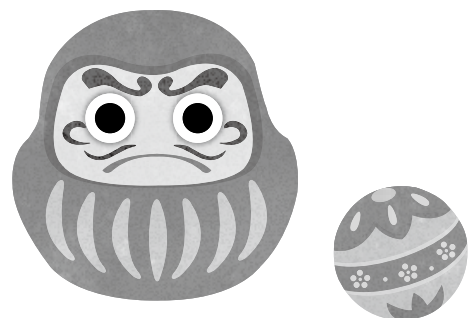


保険講習会は石川敏一県理事保険部担当を講師にお迎えし、「保険取り扱いについて」という演題で、東北ブロック会保険部長会議における情報として、東北6県の療養費や保険取り扱いの集計の結果から、県別の特徴や順位が詳細にわかり、今後の参考になる講義でした。続いて、不支給の多い保険者をピックアップし、不支給理由や各県による対策と対応、今後の課題などが話し合われました。患者受診照会により患

者数の減少をもたらし、正当な請求を不支給扱いにするなんてひどい話です。石川先生からは詳細にわたって懇切丁寧にご指導いただき、会員一同、真剣なまなざしで聞き入っていました。

今回講師を務めてくださった早坂耐希先生、石川敏一先生、お忙しい中、当地区会員のためにご講演をいただき、大変ありがとうございました。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

その後、場所を移動し「大友鮮魚店」にて懇親会となりました。鮮魚店だけあってリーズナブルな価格で盛りだくさんの料理に、会員は大満足の様子です。講習会で聞き足りなかったことを質問したり、会員同士で情報交換したりと盛り上がり、会員それぞれが良い刺激を受けて、楽しい時間があっという間に過ぎ、お開きとなりました。



令和7年テーピングボランティア報告

学術部理事 関 洋明

活動参加者

果樹王国ひがしねさくらんぼマラソン大会

開催日：令和7年6月1日（日）

花輪 春香・熊澤 和寛・関 洋明・
富田 剛史・早坂ひとみ・村岡恵太郎・
原田 哲也 以上7名

山形まるごとマラソン大会

開催日：令和6年10月6日（日）

熊澤 和寛・川越 義徳・稲毛 英俊・
関 洋明・花輪 春香・早坂ひとみ・
村岡恵太郎・高橋 良幸 以上8名

天童ラ・フランスマラソン大会

開催日：令和6年11月3日（日）

熊澤 和寛・川越 義徳・高梨 昭道・
富田 剛史・大木 徹・関 洋明・
花輪いづみ・花輪 春香・村岡恵太郎・
稲毛 英俊 以上10名

例年同様にレース前のテーピングを中心にブースを訪れるランナーが多く、レース後はペアストレッチ等を中心としたコンディショニングを行いました。

今年度は、さくらんぼマラソン大会、まるごとマラソン大会でブース場所の変更や天候の影響もあって前回までと比べてブースを利用するランナーの方が少なく感じました。

しかしながら、例年同様テーピングボランティアスタッフの人数不足が課題となりました。折角ブースに来て頂いても対応出来ないことも多く、少なくとも各大会10名以上の協力者が必要と改めて感じました。マラソン大会開催地に近い先生方はもちろんですが、他の地域の先生方も御協力を是非

お願い致します。

活動記録

（当会が担当したランナーの記録）

果樹王国ひがしねさくらんぼマラソン大会

開催日 令和7年6月1日（日）

会場 神町駐屯地及びその周辺

テーピングボランティア参加人数 7名

大会参加人数 9,600名

テーピングコーナー来場者数 76名

（男性 51名 女性 25名）

レース前後別来場者

レース前 64名 レース後 12名

年代別来場者

年代	10代以下	20代	30代	40代
人数	1	10	9	12
年代	50代	60代	70代	80代
人数	29	13	2	0

処置部位別（一人当複数処置部位有）

部位	頸	肩	背	腰	殿
人数	1	3	0	5	4
部位	大腿	膝	下腿	足	全身
人数	15	31	29	22	1

処置内容別

テーピング	70
マッサージ	9
アイシング	3
ストレッチ	16
その他処置	0

テーピング部位総数	147
テーピング処置平均部位数	約2.1



山形まるごとマラソン大会

開催日 令和7年10月5日(日)
 会場 山形市総合スポーツセンター
 及び山形市街地
 テーピングボランティア参加人数 8名
 大会参加人数 5,600名
 テーピングコーナー来場者数 109名
 (男性 81名 女性 28名)
 レース前後別来場者
 レース前 94名 レース後 15名
 年代別来場者

年代	10代以下	20代	30代	40代
人数	2	8	18	29
年代	50代	60代	70代	80代
人数	31	18	6	0

処置部位別(一人当複数処置部位有)

部位	頸	肩	背	腰	殿
人数	0	1	2	21	8
部位	大腿	膝	下腿	足	全身
人数	21	43	49	21	1

処置内容別

テーピング	93
マッサージ	24
アイシング	0
ストレッチ	18
その他処置	1

テーピング部位総数	197
テーピング処置平均部位数	約2.12



天童ラ・フランスマラソン大会

開催日 令和7年11月2日(日)
 会場 山形県総合運動公園及びその周辺
 テーピングボランティア参加人数 10名
 大会参加人数 5,610名
 テーピングコーナー来場者数 155名
 (男性 114名 女性41名)
 レース前後別来場者
 レース前 141名 レース後 14名
 代別来場者

年代	10代以下	20代	30代	40代
人数	7	10	23	26
年代	50代	60代	70代	80代
人数	58	24	7	0

処置部位別(一人当複数処置部位有)

部位	頸	肩	背	腰	殿
人数	1	4	2	21	3
部位	大腿	膝	下腿	足	全身
人数	26	69	60	29	0

処置内容別

テーピング	144
マッサージ	26
アイシング	4
ストレッチ	21
その他処置	2

テーピング部位総数	301
テーピング処置平均部位数	約2.09



西村山中総体並びに 西村山中学校新人体育大会の 救護活動報告

寒河江西村山地区 奥山 隆

今年もボランティア活動で6月14日(土)、15日(日)にバスケットボール、バレーボール、野球、ソフトボール、柔道の5種目に救護班として待機し脱臼、骨折、捻挫、打撲、挫傷等に応じた対応を施し試合に復帰出来る様、最善を尽くしております。

負傷者の応急処置

14日

- 1) バスケットボール 女子 足関節捻挫
アイシング 包帯固定
- 2) バスケットボール 女子 膝関節捻挫
アイシング 包帯固定
- 3) バレーボール 男子 足の痙攣
- 4) 野球 男子 足の肉離れ 2名



15日

- 1) バスケットボール 女子 足関節捻挫
テーピング固定

西村山地区新人戦大会は9月20日(土)、21日(日)の両日で開催されました。

この大会ではポータブルエコーをSSBさんよりお借りし負傷選手の応急処置に活用しました。

負傷者の応急処置 20日

- 1) バスケットボール 男子 右足関節捻挫
テーピング固定



21日

- 1) バスケットボール 女子 右足関節捻挫
テーピング固定

支部会員の皆様、長年ボランティア活動に参加頂きありがとうございます。お疲れ様でした。



第27回国際ノルディック・ウォーク in 鶴岡 報告

広報担当 丸山 稔

つるおかスリーデーウォーキング2025の3日目として第27回国際ノルディック・ウォーク in 鶴岡が令和7年9月15日(月・祝)に湯野浜小学校周辺で開催されました。

庄内地区から佐藤康悦氏、高橋洋輝氏、富樫吉勝氏、自分の4名でボディケアチームとして参加しました。

当日はノルディック・ウォークに115名の参加で、ウォーキング前後にボディケアに来られた方は36名でした。ケアを受けた



皆さん口々に「楽になった～」と言って帰られた方、去年も来たから今年もお願いしますと言って来られた方沢山いらっしゃい

ました。ウォーキングの参加者は去年より少なかったのですが、ケアの方には4名多く来ていただきました。来年も気軽に来ていただける様にアピールをもっとしたいと思います

参加の先生方お疲れ様でした。



**介護予防機能訓練事業
(令和7年11月1日現在)**

法人として委託・認定を受けて活動している県内5市の活動状況をご紹介します。

11月1日時点の定点での数値となります。

◎山形市（7事業所）

- 日常生活支援総合事業通所サービス A
いしかわ接骨院
伊藤接骨院
稲毛接骨院
たかはし接骨院
ぶどうヶ丘接骨院
山形接骨院 利用者数 延べ81名

◎上山市

- 「ころばねず体操」一次予防
センター方式市内2か所計75名
加藤接骨院
川越接骨院
前田接骨院
- 日常生活支援総合事業通所サービス C
加藤接骨院 利用者数 5名

◎東根市（4事業所）

- 日常生活支援総合事業通所サービス A
「しゃきっと運動教室」
いしかわ接骨院
下山接骨院
原田整骨院
ひがしね接骨院いとう
利用者数 延べ28名

◎南陽市（8事業所）

- 「わくわく健康教室」
南陽市一般介護予防事業（地域介護予防

活動支援事業)

センター方式 市内2か所(月1回開催)
参加人数計約30名/月

- 「転倒防止体操」「元気運動教室」一般介護予防事業
市内3か所（月2回開催2か所、月1回開催1か所）
参加人数 計約140名/月
佐藤整骨院
後藤接骨院
竹田接骨院
嵐田接骨院
南陽接骨院
江口接骨院
太子堂鍼灸整骨院
みつば接骨院

◎通所サービス C

1クール14回開催。地域包括支援センターからの依頼に応じ各施術所で行う。
今年度は現在まで8名。

「活き活き貯筋教室」一般介護予防事業
週2回約15名/回

参加人数 約120名/月
嵐田接骨院

◎「活き活きホグレル教室」

一般介護予防事業
週2回約20名/回
参加人数 約160名/月
太子堂鍼灸整骨院

◎天童市（3事業所）

- 日常生活支援総合事業通所サービス A
大木接骨院
くまざわ整骨院
高梨整骨院 利用者数 18名

皆さんは…

学術部理事 関 洋明

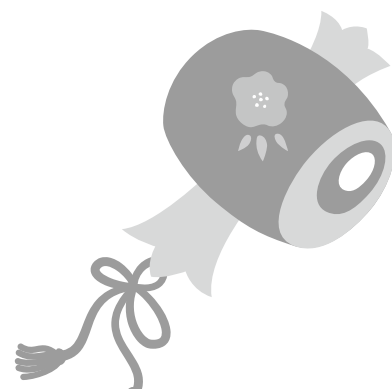
日々、先生方は沢山の患者さんと向き合い施療に取り組んでいると思います。骨折・脱臼・捻挫・打撲・挫傷等を基本的な施術及び先生方がそれぞれに持つ施術方法を駆使して施療を行っている事と思います。

そんな日々の仕事の中で、患者さんに予防や今後の回復の為に何をしたら良いのか、何に気を付けたら良いのか、どんな運動や体操をしたら良いのか等質問されることがあると思います。そんな時先生方はどのような指導を行っていますでしょうか。また指導をする為には準備が必要になりますがその知識等はどのようにして習得していますでしょうか。例えば運動や体操ですが、出来るだけ患者さんが覚えやすいそして継続して行うことが出来るものかと考えたりもしているのではないのでしょうか。

では、昨今色々運動や体操トレーニングに関する情報も沢山ありますよね。そのような情報に触れる機会としては、講習会・勉強会・トレーニングジム等または書籍やインターネットで検索する等々、様々な方法があると思います。そんな中から患者さんに指導助言する為に抜粋し、自分自身で実際に行ってみて習得していく事になると思います。そして指導助言を行っていく事になると思います。

患者さんと向かい合う中、施術を行うための方法等を常に探求していく事はもちろんですが、患者さんとの対話で求められるものにどのように答えていくか等々、その他も含めて日々考え悩むことが多い私であります。

色々な情報に溢れている昨今、皆さんは主な情報、勉強の窓口としているのはどのようなものなのでしょうか。実に興味のあるところです。



令和8年の「シリーズ 昔は良かったなあ」コーナーは、本会の副会長も務められた「ほねつぎ名倉堂」の佐藤敏先生からの熱いメッセージです。

「四十七年の回顧録」

寒河江西村山地区 佐藤 敏

私は昭和53年4月16日の入会です。当時は一番近くの接骨院に挨拶及び許可を得なければならず、また支部内でも入会をどうするか許可を得なければならず、勿論ダメとは言えない中で、保険の取り扱いをできるだけ引き延ばすというような行為は普通に行われていました。私も保険講習会等何だかんだ言われ、保険の取扱いは9月1日からでした。内情が分かると思います。幸いにも私は、自宅兼接骨院を建築中だったので特に気にはならなかったんですけどね。

そして当時の支部入会金は100万円だと言われビックリ。そして私の居る前で支部長と県会長（西郡には県会長が居た）の話で、この金で皆どこに旅行しようかとの事。まったくこれまたビックリ、人をバカにした話です。このような会の体質にはまったく驚かされました。忘れられない話です。

インターンは埼玉県蕨市の接骨院でした。当時は骨折・脱臼、又疑いのあるものはX線を使っていました。もちろん禁止されていることは知っていますが、埼玉では慣例になっているようなところがあり、ほとんどの接骨院で使われていました。でしたのでインターン時代に多くの骨折等を見ることができ、又整復も出来て大変有意義でした。

私が開業した昭和53年の当時に於いても、労災の請求用紙にはX線の使用料金欄もありました。もちろん現在は両方ともにありませんが、でも思います。そのような時に日整はもっと強力でどうにかして欲しかったと…。未来を見誤ると現在の様に先細りになってしまうのです。

入会後は思った以上に順調でした。順調過ぎて県会の指導を3回も受けることになりましたが、どういう事でしょうか、こういうことが山形県は全国で収入面でビリ争いしている一因になっているのだと思います。それに山形県人はあまりにも立派すぎます。何でも行政の言いなりではなく、反論するところはどこまでも反論しないと。又我々は柔道整復師法の下で仕事をしているのであって、医師の下請けではありません。医師と柔整師の間では意見の相違があるのは当然であり、そこを掘り下げて意見を通そうとしなかったら悪くなる一方です。現在もその事ができずにビリ争いをしている状態です。

山形県の患者数は他県と比べて引けを取っている訳ではありません。ではなぜビリ争いをしているのか？皆さんなら何を意味しているのか分かる筈です。

自分が良くなろうと思うならば、会全体が良くなっていく方に全力を注いでいかなければ絶対に良くなりません。代表理事者の責任は重いのです。どうすれば現在も未来も良い方向で接骨院を続けていけるのか、考え続ける必要があると思います。ただ年間行事をこ

なしていけば良いのではないのです。会は何のためにあるのか、会議はどう進めていくべきか。今、日本同様に我が会も岐路に立たされていると思います。特に山形県はもっと危機感をもって代表者には事にあたって欲しいと思います。

時に流されないように！

現在は整形も増え、又様々な我々業界に対する締め付け等もあり、全国的に患者数の減少が続いています。日整であれ山形県であれ、一団体・一個人で考えずに、多くの人の知恵を借りて対処して頂きたいものです。

私は70歳も過ぎ、現在一番スムーズに仕事をして行ける状態です。でも若い方には柔整師としての誇りや夢を大いにもって、これからも続けていけることを願っています。



今回のシリーズ「この人」は、置賜地区の嵐田郁夫先生をご紹介します。柔道整復師のみならず多方面で御活躍されております。多彩な活動の原動力は何かという思いからお聞きしました。

広報部 江口 信浩

質問：嵐田先生は、社会活動・地域活動に非常に積極的に関わっていらっしゃいますが、現在の主な活動を教えてください。

回答：1、南陽市吹奏楽団団長
2、南陽市バンド連絡協議会会長
3、シェルターなんようホール（南陽市文化会館）市民事業委員会委員長。
4、東置賜地区保護司会南陽分会会長（非常勤国家公務員）
5、南陽市いじめ問題対策連絡協議会会長
6、南陽地区被害者支援連絡会委員
7、結城豊太郎記念館作文コンクール審査委員 他

質問：最初に、先月記念すべき第1回コンサートを開催したばかりの吹奏楽団についてお話をお聞きします。市内で初めての吹奏楽団の設立から団長として関わっているとありますが、いろいろとご苦労も有ったと思います。そのあたりも含めて教えてください。

回答：南陽市には吹奏楽団がありませんでした。受け皿すらありませんでした。昨年（令和6年）6月に設立総会を行い、正式に南陽市吹奏楽団を発団しました。設立に際しましては、前年の令和5年10月頃より設立準備室を設け、発起人8名にて事務局として活動していました。準備には規約の制定、会費の徴収金額、練習会場、楽譜の調達、楽器の調達等々がありました。また文化会館との調整、南陽市や南陽市教育委員会との協議、そして南陽市内各中学校への不用となった楽器を頂戴しに行くなど、事務局は勿論ですが、自らが行動しなければならない場面が多かったように思います。第1期団員募集は南陽市市報、置賜地域のタウン誌の「あづま〜る」、ケーブルテレビへの出演等にて行いましたが、当初の予想を大幅に覆す48名程度の応募者が集まり、今現在では、置賜一円はもとより、山形市、遠くは東根市からも参加され総勢60名に至りました。設立の趣旨に賛同を受けてこれだけの大所帯になりましたが、経験者、楽器から離れていた時間が長かった方、初心者の方多様な団員を纏めるのはそれ自体が大変なことです。常に調和を考え、先々を見通して企画、実行を繰り返し、オファーを受けた先への出演等を熟し、11月2日に念願の1st コンサートを実現させたところです。これからも、団員の人格や自主性を尊重し、地域に根差した活動を進めていきたいと思っています。

質問：音楽関係でいえば、南陽市バンド連絡協議会も来年で設立15周年を迎えるとお聞きしました。おめでとうございます。こちらの活動についても、設立の経緯等も含めてお聞かせ下さい。

回答：私がバンドを組んで楽しんでいた中学生の頃、先輩からコンサート出演のお誘いを受けて、ステージの楽しさ、音楽の幅広さを実感したことが一番の要因かと思います。その後、高校生の時に、知り合いのプロモーターの伝手で「矢沢永吉」「クルールス」の前バンドを務め、一気に音楽の世界へと思いましたが、仲間のバンドメンバーの現実を肌で感じ断念しました。その後は大学在学中にそのプロモーターの手伝いとして様々なタレントと関わってきましたが、我々柔整の業界に足を踏み入れて細々と音楽は楽しんではいましたが、そちらの世界からは距離を置くことになりました。しかし、2011年に突然起こった東日本大震災を契機に、翌年の2012年、FM山形からチャリティコンサートの打診をいただき、私たちもバンドを組み直し、地元で活動していた2バンドを誘い、合わせて3バンドでFM山形のチャリティコンサートを企画・出演する事になりました。そこで思い出したのが中学生の時に先輩から誘っていただいたコンサートでした。組織を組んで皆で楽しみ、自分が住むこの地域を音楽で元気にしよう、音楽が溢れるまちにしようと思いました。南陽市バンド連絡協議会は個々のバンドの集合体です。今年で14年目、来年が15周年になり、会員も90余名となりました。協議会の活動と併せて、過去にバンドをやっていた、ギターを弾いていた、これから始めたいといった声に耳を傾け、我々のスキルを提供して教える事によって興味を持ってもらおうとワークショップも開催し、来年で通算10回目を迎えます。現在もワークショップを通して仲間ができ、気の合った仲間同士でバンドを結成するケースが多く、今後も会員が激増しそうで嬉しい悲鳴です。この協議会の存在自体が全国的にも稀というか初めての取り組みと自負しているところです。

質問：そして、社会貢献といえば先生は長らく保護司を務められています。今年度より保護司会南陽分会の分会長としても活動なされております。どの様な覚悟で保護司を引き受けたのか、後進の育成も御苦労が有ると思いますが、併せてお聞かせ下さい。

回答：保護司は非常勤の国家公務員になります。保護司の委嘱は平成20年5月26日でもうすぐ17年目を迎えます。今では東置賜地区南陽分会の中で最長となってしまいました。仲間の協力もあり、南陽分会の会長を務めています。保護司の職務は、犯罪を犯した対象者に対して、保護観察付執行猶予の判決を受けた方、刑期途中で保護観察付きの仮出所となる対象者の面接を行い、悩みを聴いたり、二度と犯罪を繰り返さないよう、環境を整えたり、更生を促す事を主題とします。また刑期満了を迎える対象者が、出所後、何処に帰住するかを調整する環境調整等があります。常に保護観察所との意思疎通を図り、対象者について協議を重ねる必要があります。対象者は保護観察所より担当を振り分けられます。各分会には定数があり、南陽分会では現在2名不足で、また分会も例にもれず高齢化が進んでおり、ここ4～5年で四分の一の保護司が定年を迎えます。過去に対象者より逆恨みにより刺殺された事例がありましたが、東置賜では対象者との信頼関係も構築されており問題無く活動しており、簡単に保護司になれるわけではありませんが、早急な補充が課題となって

いるところですよ。

質問：先生は、上記以外にもこれまで様々な活動を行ってきたと思いますが、他に印象に残る活動はありましたか。

回答：置賜地区にはニューメディア米沢（NCV）というケーブルテレビが在りますが、初代の番組審議委員を務めました。お陰様でその時の会社役員や社員、そしてスタッフと交流を深めることができ、現在も継続しています。その伝手もあり、当時置賜支部で番組を持つ事となり「ほねつぎレンジャー」が誕生しました。これは支部会員が自ら出演してケガの予防法や応急手当、指導を行うものでした。出演された先生には、詰まりながら慣れないセリフや、演技までしてもらいました。収録はとにかく笑えたし面白かった。同士の齋藤光夫先生を初め、支部の先生方と共に脚本・演出を考えるのも楽しかったし勉強にもなりました。支部内の先生方との距離が一気に縮まった瞬間でしたし、地域の反響は大きく、柔道整復師の認知度が一気に増大し、ケガの予防施策に対して大きく貢献したことは間違いないと今でも自慢できる事業でした。

質問：ここまで個々の活動についてお聞きしてきましたが、先生にとって社会貢献や地域貢献をする意義や、柔道整復師と通ずる事があるのかお聞かせ下さい。

回答：私は様々な事業やイベントを企画運営してマスコミに取り上げられることが多々あります。その際にはただ名前を掲載してもらおうのではなく、できるだけ嵐田接骨院院長、柔道整復師嵐田郁夫として紹介してもらっています。それは、われわれ業界の名前が少しでも読者や視聴者の目にとまり、記憶に残って欲しいという気持ちがあるからです。青年会議所30代理事長を拝命した時に役所の若手職員に参加いただき「南陽夢マップ」というまちの将来像と一緒に作成した事がありました。その時の職員が部・課長になり、こちらの要望を聞き入れやすくなる事もありました。中高でPTA会長を4回経験させていただいた事も社会教育関連の幅を広げた一因にもなっており、社会・地域貢献する事によって周りからの認知度も図られ、自分（業界）の存在価値を高める事に繋がります。そして様々な案件や企画を示して活動や協力を惜しまなければ、着実に実現できるようになるはずですよ。我々業界の中にもスポ少の指導者や趣味で貢献されたり、地域のボランティアに積極的に取り組まれている方も多いはずですよ。上手く行く行かないは別として、行政や地域の方々から信頼を得、頼られ、相談を受けたりできる存在であるように心掛けたいと思っています。少しでも業界の認知度や理解を得る為にも、もっとアピールしても良いのではないかと思います。

質問：最後に、現在特に注力している活動を詳しくご紹介下さい。

回答：難しい質問です。実は、昨年、南陽市教育委員会から中学2年生の不登校について相談がありました。学校に行けず、行ったとしても月に1回程度、それも教室には入れないので保健室で時間を過ごすという事でした。そんな中、本人と先生との会話の中で、音楽に興味があり、ギターを弾いてみたいという事でした。そこで、委

員会よりなんとかならないかという話があり、一念発起。月1～2回のマンツーマンでギターを教える事になりました。ギターは一度も触れたことが無いとの事。基本から手取り教えましたが、失敗を認めてあげて、適切なアドバイスをゆっくり話してあげる。時にはわざと間違えて笑いを引き出すなど、お互いに楽しい時間を共有できたと思いましたが、今では音楽に合わせて数曲弾けるようになって来ました。今は3年生。今年の春くらいからは週に2～3学校に行けるようになりました。ギター（音楽）を通して自分に自信を持つことができたのでしょう。教室で同級生と会話できるほどになりました。更に将来の夢も語れるようになりました。彼につられ、やはり不登校だった弟も学校に行けるようになったとの報告も受けました。進学の話も前向きに話せるようになり、志望校の名前も挙がってきました。この取り組みは私自身も初めてで自信はありませんでしたが、回数を重ねる毎に会話が増え、笑顔が増え、ギターも上達して行く過程を目の前で感じる事ができた、自分にとっても実のある活動だったと思います。さて、一つ一つの事業を満遍なく熟す事は不可能です。どこかに無理が掛かり歪を来します。自分の体が二つ三つ欲しいと思う事もありますが、物理的に不可能なので、とにかく切り替えが大事なことと思います。それぞれに対応して行く為に常に個々の事業を頭に入れて対応可能にしておく準備が必要です。立ち止まって足元を見つめて振り返る時間も必要ですし、家族との時間も大切にしなければなりません。また人の話もしっかり聞くことも大切です。独り善がりにならないよう常に自分に言い聞かせています。前を向いて将来を見据え、夢を皆で共有できるように行動していきたいと思っています。とにかく楽しく

自分らしく居心地が良いように。

今後の、益々の御活躍をご期待致します。

本日は、貴重なお話を有難うございました。



南陽市吹奏楽団



南陽市バンド連絡協議会



秋田刑務所

防犯対策は怠りなく

最北地区 原田 洋典

会員の先生方は患者さんとのトラブルの経験はございませんか？実は私、最近ある患者さんとトラブルになりました。その詳細をご報告いたします。

その患者さんは以前にも来院されて自由診療で施術を行った経緯があり、今回も自由診療での施術をお願いされました。ところが会計の時になって「実はお金がない。5日には必ず払う」とのこと。身元は分かっていたのでツケとして扱いました。それから数回来院して症状が改善したため、一度施術を打ち切って様子を見ることを説明し、了承していただきました。数日が過ぎ「畑仕事をしたら、また痛くなったので助けてほしい」と懇願され、さらに数回の施術を行い、私から「金額も前回より大きくなり、まとめて支払うのは大変でしょうし、症状も落ち着いたので、今日で最後にしませんか？」と提案いたしました。患者さんもそれに納得したのですが、帰り際に突然財布を取り出し「あれっ！今から買い物に行きたいのに家にお金を忘れてきた。戻るのが大変だからお金を貸してほしい」と言われ、私は彼を信用して5000円を貸してしまいました。そして約束の5日に来院されたのですが、持ってきたお金は約束とは程遠い3000円だけで、また来月の5日に返済するとのことでした。

その後、しばらく音沙汰がなかったのですが、その時期あたりから何かの違和感を感じておりました。私が外出する時は、レジの中のお札は取り出し小銭だけの状態です。なぜか減っているような気がしつつも、私の勘違いだと思っていました。ところがある日、昨日まで数十枚あったはずの100円硬貨が1枚だけしかなく、ようやく盗まれていることに気付いたのです。防犯カメラは設置していなかったため、すぐさまネット通販で購入し、商品が到着するまでスマホとデジカメで簡易的な防犯対策を行いました。そして次の日もレジのお金が減っていることに気付き、高鳴る心臓を抑えながら動画を確認してみたところ、犯人は自由診療で来られた患者さん（今後、容疑者A扱い）でした。施術を受けながら、ここなら盗めると思ったのでしょうかね。しかし、盗んでいるだけの映像は証拠として不十分です。動画の最初に日付と時間が確認できるものとレジの中の硬貨の数を撮影し、犯行後に何円盗まれたか証明する必要があります。Aに気付かれないように、数日にわたり証拠固めを行いました。Aの犯行は手慣れており、土足で忍び込み、レジの中の1000円～2000円を盗み、逃走するまで30秒もかからない手際の良さで、そんな映像を数回撮影することに成功しました。

証拠もそろったし警察に届けようかと思いましたが、見知らぬ人ならともかく面識があり近くに住んでいる人です。仕事柄あまり大ごとにするのは得策ではないと考え、現行犯で捕らえて完璧な証拠を掴み、懲らしめてやろうという結論に至りました。

やはりAはその日も現れて、私がそばで隠れていることも知らずにレジの硬貨を漁っています。抵抗されたらどうしようかと不安もありましたが、握りしめた護身用バットが私

を守ってくれるはずです。薄暗い施術室の奥から静かにAの背後に立ち、黙って事の成り行きを見守りました。私の鬼の形相に気付いたAは「あっ！」と言葉を発し、血の気の引いた表情で呆然と立ち尽くしています。実は私の行動には理由があり、窃盗行為は依存性が高く、何度も繰り返してしまう傾向があるので、そこでトラウマになるほどの恐怖心を植え付ければ、ここでの窃盗はもう起こさないだろうと考えた末の行動です。

そして私は堰を切ったように心の内をAに吐き出しました。やはり信じていた人から裏切られることはショックで悲しいですし、土足で施術室に上がり込まれたことに怒りを抑えることができません。抵抗もなく窃盗を素直に認めたため、警察に連絡する方がいいか、それとも今まで盗んだ分と借金分、ツケ代をまとめて今日中に払うか、その場合は被害届は出さないことを伝えました。すると「数日待ってくれ」と。謝罪も他人事のような空謝りで、まだ自分が置かれた状況を理解していないようです。普通ならば、自分が知るすべての知り合いに頭を下げてでもお金を工面するのが当然の行為だと思います。さすがにこの態度には、人を平気で裏切る人間はどこまでもいい加減なんだと呆れてしまいました。「もうAさんを信用できません。今後一切あなたと関わり合いたくないので、これを最後通告とします。今日中に全額返済するか、それが無理ならば警察に証拠を提出し被害届を出します。あなたが刑に服せば私への返済は難しくなるとは思いますが、それはそれで諦めます。ただし罰金は免れられないと思います。窃盗罪は懲役10年以下または罰金50万円以下の刑罰です。あなたの生活費も停止されるかもしれません。今すぐ警察を呼びますか？」さすがに観念した様子で、今日中に全額返済することを約束して出て行ってもらいました。

しばらくして見知らぬ男性と一緒に現れました。名刺をいただいたところ、とある大学の助教の傍らAの身元保証人にもなっているとのこと。おそらくお金の工面ができなく身元保証人の彼に泣きついたのでしょう。その方も一緒に謝罪していただきました。彼は「今Aさんに返済できるお金がなく、どうか次の支給日まで待つてほしい。その時は私が責任をもって全額支払わせます」とお願いされると同時に、彼に強く叱責されたのかAは態度を一変し、何度も土下座をしながら平謝りを繰り返していました。わざわざ山形市から来ていただき、誠意も強く感じましたので、身元保証人の顔を立ててその条件を呑むことにしました。そして私からの条件も提示しました。Aとは二度と関わり合いたくないので、施術所は出禁にし、返済金は代理で身元保証人が届けること。再度窃盗を繰り返したり、逆恨みなどの嫌がらせ行為を確認した場合は、問答無用で警察に被害届を出すこと。そして警察から別件で捜査協力を依頼されたら、私が出たAの情報を漏れなく提供することを理解していただき、承諾させました。

盗まれた金額は正確には分からず、Aが自白した金額を信じるしかありません。でもレジに鍵を掛けなかったり、釣銭の額を確認しなかったり、防犯カメラを設置しなかった私にも落ち度があり、それを実行していれば、Aは窃盗を諦めたかもしれませんし、やられたとしても少ない被害金額で済んだかもしれないのです。

会員の先生方には、私のように犯罪のリスクを自ら引き寄せることにならないよう、御面倒でも防犯対策は怠らないでいただければと思っております。

臍で茶を沸かす話

いなげひでとし

以前の会報に「体」や「ヒト」にまつわる駄文を数回投稿したが、今回は「臍」をテーマにして話をしようかと思う。

へそである。ほぞともいう。漢字で書くと臍。にくづきに「齊」。齊という字を漢和辞典で引くと「等しくする、なか・中央、合わせる」とある。日本の臍、本州の臍、北海道の臍なんて自慢しているところがあるが、主張している町の中には本当にここが真ん中なの？なんて首を傾げてしまうところもある。でもどこの町もここが中心だと言って譲らない。



さて人体の臍は凡そ正中線上にあって、生命エネルギーの集まる「丹田」は臍下10cmとか腰痛の施術ポイント「大腰筋」は臍の4横指外側だとか、触診時の大切な目印にもなっている。男女では高さがだいぶ違うのを実感しているが、実は日本には理想的な臍の位置と形を研究しているドクターがいるんです。なんでそんな研究が必要なのかと言うと、病気などで臍を無くした人に新たに臍を作ってあげなければならないからなんです。

「臍ヘルニア」。通称でべそ。子どもであれば自然に治ってしまう場合が多いが、大人だと薄くなった腹膜から脱出した腸などの臓器が嵌頓状態になって血流を障害し激しい痛みを引き起こすことがある。そうなるとヘルニア門、つまり臍を閉じなくてはならない。それが男性なら俺はカエルの仲間になったんだとか雷様に持って行かれたんだとか軽口も叩けるが、女性だと臍が無くなったままでは嫌、形の良い臍を作って頂戴なんてことにもなる。そんな理由で形成外科医の中には真剣に臍の位置の研究する方々がいらっしゃるという訳だ。そもそも臍は母親と繋がっていたへその緒（臍帯）が取れた後の癒痕で、如何に癒痕を作らないか研鑽している形成外科医にとって、綺麗な癒痕（臍）を作ると頼まれるのは矛盾していて複雑な感情を伴うらしい。



-----◇-----
さて、旧約聖書に登場する最初の人類とされるアダムとイヴに話を転じて。

神によって土の塵から創造されたアダムとそのアダムの肋骨から作られたとされる女性のイヴ。上半身だけ子どもに変身した邪悪な蛇がイヴに禁断の果実のり

ンゴを食べさせようとしている有名なこの絵、先生はどこがおかしいとは思いませんか？

なんと二人のお腹にはしっかりと臍が描かれているんですね。土の塵から生まれたのに肋骨から生まれたのにどうして臍が付いてるの？アダムとイヴの子供であるカインとアベルであれば臍があつて当然だが、どう考えてもおかしい。画家が勝手に思い込みで付けたのか、まさに神のみぞ知るということか……。

-----◇-----

臍を英語でいうとnavelである。「navel orange」はお尻の部分に小さな臍のような突起があるので名付けられた。臍がないのはバレンシアオレンジ。「navel gazing」（臍を凝視する）というのは転じて自己中心的な思考との意味らしい。

ところで「navel engagement」というアメリカのスラングをご存知でしょうか。直訳すると「臍の婚約」となるこの言葉。何を意味するのかというと、男女が事を致すときの正常とされる体位のことなんです。そうか、「齊」には合わせるという意味もあったんだっけ。きっとアダムとイヴが初めて事を致すときにうろたえない様に神様は臍を作ったのかもしれないぞ。



「生命～どのようにして存在するようになったか～進化か、それとも 創造か」という本がある。以前足関節捻挫で通院していたエホバの証人の方で、信者指導をしているという患者さんに頂いた本なのだが、進化論では説明できない事象を取り上げ、だから神が創造したのだという見事な主張をしている学術書である。アメリカでは今も進化論と創造論の議論が盛んで、45%を超える人が創造論を支持しているようだ。と、ここまで書いてきて、一昨年 of 会報に投稿した哺乳類にはあるのにヒトにだけ無い「バクラム（陰茎骨）」についての議論を思い出した。イヴはアダムの肋骨から造られたとされているが、男女の肋骨は同数だし、肋骨ではなく陰茎骨の誤訳ではないのかという意見である。進化ではなく創造だとするなら理にかなった意見で、全く同意する。

聖書にまで突っ込みを入れている俺の臍は真ん中じゃなくて少し曲がっているのかもしれないなどと思いつつ、バーボンをちびちび舐めながら一度ケンタッキー州にある創造博物館に行ってみたいなあと思いを巡らせたりする。

聖書にまで突っ込みを入れている俺の臍は真ん中じゃなくて少し曲がっているのかもしれないなどと思いつつ、バーボンをちびちび舐めながら一度ケンタッキー州にある創造博物館に行ってみたいなあと思いを巡らせたりする。

◇令和7年度 会の動き◇

令和6年12月

- 7日 令和6年度中間監査会開催（事務所二階会議室）
 - ㄥ 寒河江・西村山地区保険学術講習会に講師として後藤雄二会員を派遣（寒河江市）
- 8日 理事会開催（事務所二階会議室）
- 11日 柔整審査委員会（協会けんぽ・事務所二階会議室）
 - ㄥ 健保連山形連合会との定例業務打合せ会に佐藤会長、県保険部理事が出席（山形市）
- 12日 国保審査委員会（寒河江市）
- 13日 山形県警察柔道・剣道大会に救護班として武田吉和会員を派遣（天童市）
- 15日 日整社団法人設立70周年記念式典に齊藤相談役、佐藤会長が出席（東京都港区）
- 24日 労災審査委員会（山形市）

令和7年1月

- 6日 新春賀詞交歓会に後藤事務局長が参加（山形市）
- 8日 柔整審査委員会（協会けんぽ）
- 11日 山形県歯科医師会新春祝賀会に佐藤会長が出席（山形市）
- 15日 自主審査委員会（事務所二階会議室）
- 16日 国保審査委員会（寒河江市）
- 18日 東北ブロック会第4回理事会に佐藤会長・武田副会長・稲毛副会長が参加（秋田市）
- 28日 労災審査委員会（山形市）

2月

- 1日 山形県中学生柔道1年生強化ブロック大会に救護班として武田吉和会員・高橋良幸会員を派遣（山辺町）
- 2日 令和7年山形県柔道選手権大会に救護班として武田吉和会員を派遣（上山市）
- 9日 「匠の技伝承」プロジェクト指導者養成講習会オンライン（事務所2階会議室）
- 13日 柔整審査委員会（協会けんぽ・事務所二階会議室）
- 23日 国保審査委員会（寒河江市）理事会開催（事務所二階会議室）
- 24日 第43回山形県少年柔道大会に救護班として川越義徳・橋間尚会員を派遣（上山市）
- 25日 労災審査委員会（山形市）

3月

- 7日 山形県衛生団体連合会理事会に佐藤会長が参加（山形市）
- 9日 第14回公益社団法人山形県柔道整復師会少年少女柔道大会・形競技会開催（山辺町）
- 12日 柔整審査委員会（協会けんぽ・事務所二階会議室）
- 13日 国保審査委員会（寒河江市）
- 15日 東北ブロック会監事会引継会に佐藤会長・稲毛副会長・後藤局長が参加（秋田市）
- 23日 全国会長会に佐藤会長が出席（東京都台東区）
 - ㄥ 役員選任委員会（事務所二階会議室）
- 25日 労災審査委員会（山形市）

4月

- 2日 全国学術部長会議に佐藤義弘学術部長が出席（Zoom）
- 5日 東北ブロック会第1回理事会に佐藤会長、武田副会長、稲毛副会長が参加（Zoom）
- 6日 東北ブロック会論文審査会に佐藤義弘学術部長が出席（山形市）
- 9日 柔整審査委員会（協会けんぽ・事務所二階会議室）
- 11日 東北ブロック会柔道大会打合せに武田副会長が出席（上山市）

- 12日 監事会開催（事務所二階会議室）
- 13日 理事会開催（事務所二階会議室）
 - ♪ 保険部による新入会員保険取扱講習会開催（事務所二階会議室）
- 17日 国保審査委員会（寒河江市）
- 20日 役員選任委員会（事務所二階会議室）
 - ♪ 保険部による新入会員保険取扱講習会開催（事務所二階会議室）
- 22日 労災審査委員会（山形市）
- 23日 東北ブロック会打合せに稲毛副会長が出席（山形市）

5月

- 6日 第42回山辺杯中学校柔道大会に救護班として渡辺栄一会員を派遣（山辺町）
 - 柔整審査委員会（協会けんぽ・事務所二階会議室）
- 8日 国保審査委員会（寒河江市）
- 15日 第68回通常総会・理事会開催（山形国際ホテル）
- 25日 東北ブロック会学術担当者会議（Web）に稲毛副会長と佐藤義弘学術部長が出席
- 27日 労災審査委員会（山形市）
- 31日 令和7年度第76回山形県高等学校総合体育大会に救護班として高橋良幸会員を派遣（上山市）

6月

- 1日 東北ブロック会第2回理事会に佐藤会長、武田副会長、稲毛副会長が出席（仙台市）
 - ♪ 令和7年度第76回山形県高等学校総合体育大会に救護班として高橋良幸会員を派遣（上山市）
- 2日 令和7年度山形県警察逮捕術大会に救護班として武田吉和会員を派遣（天童市）
- 8日 JOC ジュニアオリンピックカップ2025年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会に救護班として武田吉和会員を派遣（山辺町）
- 11日 柔整審査委員会（協会けんぽ・事務所二階会議室）
- 12日 国保審査委員会（寒河江市）
- 15日 地区・各地区五部長合同会議開催（山形ビッグウイング）
- 24日 労災審査委員会（山形市）
- 29日 令和7年山形県少年少女柔道ワッペン大会に救護班として馳尾順一会員・橋間尚会員を派遣（上山市）

7月

- 6日 北海道学術大会に武田副会長が出席（札幌市）
 - ♪ JOC ジュニアオリンピックカップ2025年度全日本ジュニア柔道体重別選手権東北予選会に馳尾順一会員を派遣（上山市）
- 9日 柔整審査委員会（協会けんぽ・事務所二階会議室）
- 11日 東北ブロック会山形県大会 柔道部打合せ会（山形市）
- 12日～13日 第79回国民スポーツ大会県予選会兼第52回東北総合スポーツ大会山形県予選会
 - 救護班として高橋良幸会員を派遣（上山市）
- 12日～13日 第65回山形県中学校総合体育大会柔道競技に救護班として工藤長弘会員、長南一穂会員、富樫吉勝会員、服部将士会員を派遣（鶴岡市）
- 17日 国保審査委員会（寒河江市）
- 20日 東北ブロック会山形県大会打合せ会（山形市）

- 26日 東北ブロック会少年柔道大会・形競技会開催（上市市）
27日 （公社）日本柔道整復師会東北学術大会山形県大会開催（山形市）
29日 労災審査委員会（山形市）

8月

- 12日 自主審査委員会（事務所二階会議室）
13日 柔整審査委員会（協会けんぽ）
14日 国保審査委員会（寒河江市）
23日 東北ブロック会会長会・四部会が開催された（山形市）
会 長 会 佐藤公司会長
保険部会 石川敏一保険部長
学術部会 佐藤義弘学術部長
広報部会 東北ブロック会広報部長 武田吉和副会長 江口信浩理事
柔道部会 馳尾順一経理部長
事 務 局 東北ブロック会事務局長 稲毛英俊副会長
26日 労災審査委員会（山形市）

9月

- 6日 置賜地区保険講習会に石川保険部長を講師として派遣（南陽市）
10日 柔整審査委員会（協会けんぽ・事務所二階会議室）
11日 日整全国介護予防事業担当者会議に稲毛英俊副会長が出席（Zoom）
13日 令和7年度東北高段者柔道大会に救護班として高橋良幸会員を派遣（上市市）
18日 国保審査委員会（寒河江市）
11日 理事会開催（事務所二階会議室）
21日 山形地区秋季保険講習会に石川保険部長を講師として派遣（山形市）
30日 労災審査委員会（山形市）

10月

- 5日 第33回山形県少年少女スポーツ交流大会に救護班として五十嵐宏会員・橋間尚会員を派遣（山辺町）
8日 柔整審査委員会（協会けんぽ・事務所二階会議室）
　　〃 JA 共済打合せに佐藤会長・石川保険部長・白旗理事が出席（事務所二階会議室）
9日 国保審査委員会（寒河江市）
　　〃 第3回東北ブロック会理事会に佐藤会長・武田副会長・稲毛副会長（山形市）
　　令和7年度山形県中学校新人体育大会（北ブロック大会）柔道競技に救護班として佐藤英明会員・堀和隆会員を派遣（酒田市）
　　〃 令和7年度山形県中学校新人体育大会（南ブロック大会）柔道競技に救護班として渡辺栄一会員・山川大地会員を派遣（山辺町）
　　〃 最北地区保険講習会に石川保険部長を講師として派遣（新庄市）
28日 労災審査委員会（山形市）

11月

- 1～2日 第66回山形県高等学校新人柔道大会に救護班として武田吉和会員を派遣（上市市）
3日 第70回山形県南北対抗柔道大会・山形県柔道高段者大会に救護班として高橋良幸会員を派遣（上市市）
7日 令和7年度山形県警察柔道・剣道大会に救護班として武田吉和会員を派遣（上市市）

- 8日 令和7年度 山形県中学校新人体育大会（決勝大会）柔道競技に救護班として渡辺栄一会員・高橋良幸会員を派遣（山辺町）
- 9日 臨時総会・令和7年度保険・学術講習会（国際交流プラザビッグウイング）
- 12日 柔整審査委員会（協会けんぽ・事務所二階会議室）
- 13日 国保審査委員会（寒河江市）
- 16日 日本柔道整復師会全国少年少女柔道大会・形競技会（東京都・講道館）
- 25日 労災審査委員会（山形市）
- 〃 JA 共済連山形との連絡協議会議佐藤会長・石川保険部長・白旗理事出席（山形市）
- 29～30日 第48回全国高等学校柔道選手権山形大会に救護班として高橋良幸会員を派遣（上山市）
- 30日 「匠の技伝承」プロジェクト指導者養成講習会オンライン（事務所2階会議室）

会員の異動

入会 花輪 春香 (変更)・安達 智也 (変更)・遠田 恭祐
退会 佐竹 栄治・五十嵐伝志郎・大川 徹・齋藤 大輝

編集後記

昨年開催された「東北ブロック会山形大会」について、編集委員である各地区の広報理事から詳細な報告をして頂きましたが如何だったでしょうか。「シリーズ・昔は良かったなあ」を寄稿して頂いた佐藤先生は現在も業界のことを心配され熱いメッセージをくださいました。ありがとうございました。また「シリーズ・この人」の嵐田先生はたくさんの立派な役職に就かれ、よく身体が続くものだ后感心致します。今後もお元気でご活躍頂きたいと思います。
(稲毛 英俊)

今年度の県会報は、主に東北ブロック学術大会山形大会を特集して掲載しております。来年度からは、北海道・東北ブロックと広域となる予定です。スケールメリットを活かした意義のある活動を期待し、それらも含めて有意義な情報を皆様へ届ける事が出来る様に努めて参ります。

会員の皆様からも多数の投稿を頂き、大変ありがとうございました。

発行に際し、関係者各位の御協力に感謝申し上げます。
(江口 信浩)

編集委員 鈴木 和也・丸山 稔・原田 洋典・山田 勇樹・奥山 隆

令和8年1月20日発行

公益社団法人 山形県柔道整復師会

〒990-0829 山形県山形市五日町15番10号

電話 023 (633) 3202

発行人 佐藤 公司

編集者 稲毛 英俊

制作・印刷所 中央印刷株式会社



創業 20年

接骨院・鍼灸院
取引先数
1,500件

全国新規
開業支援数
300件以上

東北で 開業実績 No.1

業界歴20年以上のスタッフが
一つ一つの確・丁寧にサポートします



お得な情報配信中/
グローバー公式LINE
ぜひご登録ください♪

接骨・鍼灸専用オンラインショップ 大好評発売中!!

24時間注文受付

貯まる!使える!ポイント

お得なクーポン

株式会社グローバー 宮城県仙台市宮城野区幸町2丁目12-12
WEB サイト: <https://growber.co.jp>

TEL: 0120-05-9187 (平日 9:00~18:00)

オンラインショップはこちら



導入実績 10,000 件以上!!

接骨院・整骨院の
レセコンなら
業界No.1の
『三四郎くん』



※一部ご希望に添えない場合があります。

SSB 保険請求 Q&A

保険請求の“お悩み” ございませんか?

- ・相談したいけど誰にきいていいかわからない。
- ・返戻がきたけど対応がわからない。
- ・実は保険の基本的な事が分かっていない。
- ・保険改正の変更点などが分かっていない。

4つのメニューで解決策をご提案! エス・エス・ビーのレセコンをお使いのお客様は無料でご利用いただけます。

- SSB 保険ニュース …… 保険の改定を分かりやすく解説!
- 返戻知恵袋 …… 実際にあった返戻の解決策をご提案!
- 保険アカデミー …… 動画などで保険の基本が学べる!
- 返戻対策キット …… 準備不足を解消! 問診票や院内掲示物をダウンロードできる!

《超音波観察装置》

柔道整復師向け

詳しくは担当営業にお尋ね下さい。



医療機器認証番号:
229ACBZX00025000
製造販売元:
キャノンメディカルシステムズ
株式会社



Aplio air

医療機器認証番号:
306ACBZX00021000
製造販売元:
キャノンメディカルシステムズ
株式会社

HS-2200

医療機器認証番号:
225AHBZX00034
製造販売元: 本多電子株式会社



SSB 株式会社 エス・エス・ビー

ホームページはこちら▶

<https://www.sanshiro-net.co.jp/>



【仙台営業所】〒984-0015

宮城県仙台市若林区卸町5-2-10 卸町斎喜ビル301号

TEL 022-236-7211 / FAX 022-236-7212

最新柔整情報が読める!! 柔整ホットニュース
<https://www.jusei-news.com>

ActionPlus

接骨院/鍼灸院・マッサージ院

レセコンソフト *ActionPlus*

<マイナ資格確認アプリとのレセコン連携機能>
どこよりも早く! 標準機能搭載しました!

- ◆ 軽快な操作性/使いやすいメニュー画面
- ◆ ミスを防ぐデータチェック機能の充実
- ◆ 定期アップデートで最新状態を常にキープ



サンプルページはこちら▶

ロゴ製作や診察券・チラシ/リーフレット
製作も、コンパスにおまかせください!

名古屋の『気の利くエンジニアたち』の会社!

有限会社コンパスは、施術に携わるすべての方をサポートしてます!

公式 SNS もチェック!

◆ Twitter 公式アカウント



@compass_co_NGY
#愛知Twitter会

◆ LINE 公式アカウント



@compass.co



超音波画像観察装置

GEヘルスケア製 『Vscan Air CL』

- ◆ 約200gという軽さで、連続使用時間は約50分!
- ◆ 小型かつバッテリー内蔵で、どこでも使用OK!
- ◆ iPhone・iPad等の端末とかんたん無線接続!
(Wi-Fi/Bluetooth接続)
- ◆ お手元で画像をチェックできるのでとってもお手軽!
- ◆ 充電はQi規格方式なので、台に置くだけでOK!



資料請求・製品デモ(無料/対面 または オンライン)のご依頼はこちらから!

◆ お電話 **052-957-3186** ◆ 公式HPお問い合わせフォーム(24時間受付OK!)



有限会社 コンパス

<https://www.compassnet.jp>

〒461-0001 愛知県名古屋市東区泉1-18-3 泉ステイトリービル8F

営業時間: 平日(月~金曜日) 9:00~17:00 (土・日・祝祭日は休業)

日本柔道整復師 協同組合員のみなさまへ

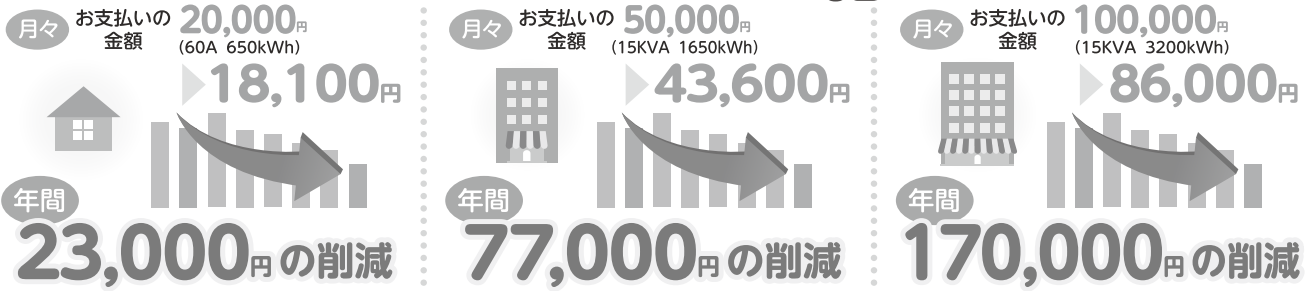


電気料金見直してコスト削減!

Powered by ミツウロコエッセル

電力自由化で、
電気は選んで買う時代!

東京電力との比較の場合 **電気代をもっとお得に!**



気になる疑問におこたえします!

- 切り替えることによって停電が増えたりはしません!
- 品質は変わりません!
- 切替に際し、スマートメータに交換作業が発生しますが、費用はかかりません!
- 検針伝票を用意していただき、お申込書にサインしていただくだけでOKです!

日本柔道整復師協同組合指定登録業者

お問い合わせ先

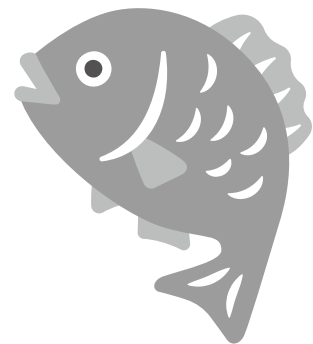
組合員
ミツウロコでんき
専用窓口



0120-983-037

受付時間 9:00~19:00
(日・祝日を除く)

▲ ミツウロコグループ



お客さまアドバイザーは
フコク生命オリジナルで当地キティとともに
夢と安心をあなたにお届けしていきます。



山形支社オリジナル
で当地キティ

HelloKitty

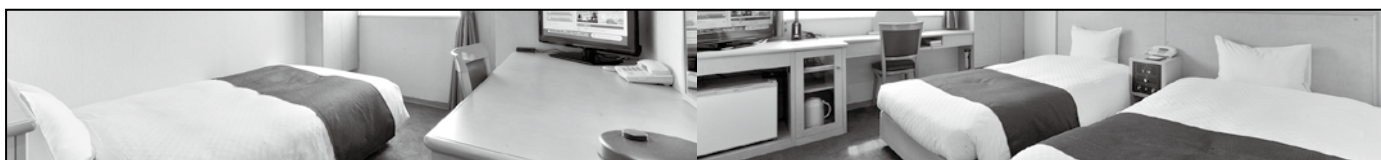
© 2026 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL NO. L670259

「ハローキティ」は、フコク生命のイメージキャラクターです。

富国生命保険相互会社 山形支社 〒990-0043 山形市本町 2-1-2 山形フコク生命ビル 5F TEL：023-631-3583

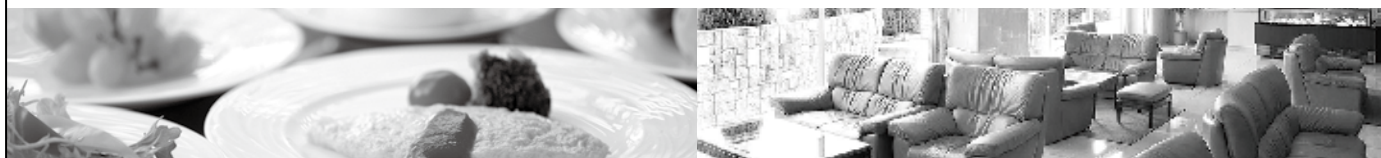


© 広 -014-0130(2026.1.19)



YAMAGATA KOKUSAI HOTEL

JR山形駅より徒歩6分・バスターミナル南隣
山形市香澄町3-4-5 TEL.023-633-1313(代)
<https://www.kokusaihotel.com>



家族を乗せて
走るから、安心は
三つ星を選ぶ。

もしものときの、頼れる保障。



お見積りは
こちら



くらしの保障、相談するなら



※ご加入にあたりましては、お近くのJAへお問い合わせください。
■JA共済ホームページアドレス <https://www.ja-kyosai.or.jp>

25481050056